


インドネシア共和国
ソロ身体障害者リハビリテーションセンター
計画打合せ調査団報告書

平成8年2月

JICA LIBRARY

J 1152517 (7)

国際協力事業団
社会開発協力部

108
21.3
SCF
LIBRARY

社 団
JICA
96-051

インドネシア共和国
ソロ身体障害者リハビリテーションセンター
計画打合せ調査団報告書

平成8年2月

国際協力事業団
社会開発協力部



1152517(7)

序 文

インドネシア共和国では経済が急速に成長する一方で社会福祉・保健医療等の社会インフラ整備が立ち遅れ、中でも身体障害者のリハビリテーション体制の未整備が目立っていた。このため同国政府は、古い歴史をもつソロ身体障害者リハビリテーションセンターで、障害者に一般雇用に結びつく職業訓練を行う職業リハビリテーションシステムを新たに構築したいとして、我が国にプロジェクト方式技術協力を求めてきた。この協力は、別途我が国に無償資金協力を要請している「チビノン国立障害者職業リハビリテーションセンター」計画のパイロットプロジェクトともなるものであった。

要請を受けて国際協力事業団は、1994年11月に討議議事録（R/D）の署名を取り交わし、同年12月20日から3年間の予定で「ソロ身体障害者リハビリテーションセンター」プロジェクトを開始した。

今般は同プロジェクトの開始後約1年を経て、訓練コースも開講されたので、実施計画の妥当性を検討するため、1996年（平成8年）1月18日から同27日まで、労働省職業安定局高齢・障害者対策部障害者雇用対策課調査官 二川一男氏を団長とする計画打合せ調査団を現地に派遣した。その結果、同調査団はプロジェクトが労働市場を見据えた訓練内容を設定して訓練を実施するなど、成果をあげつつあると評価している。

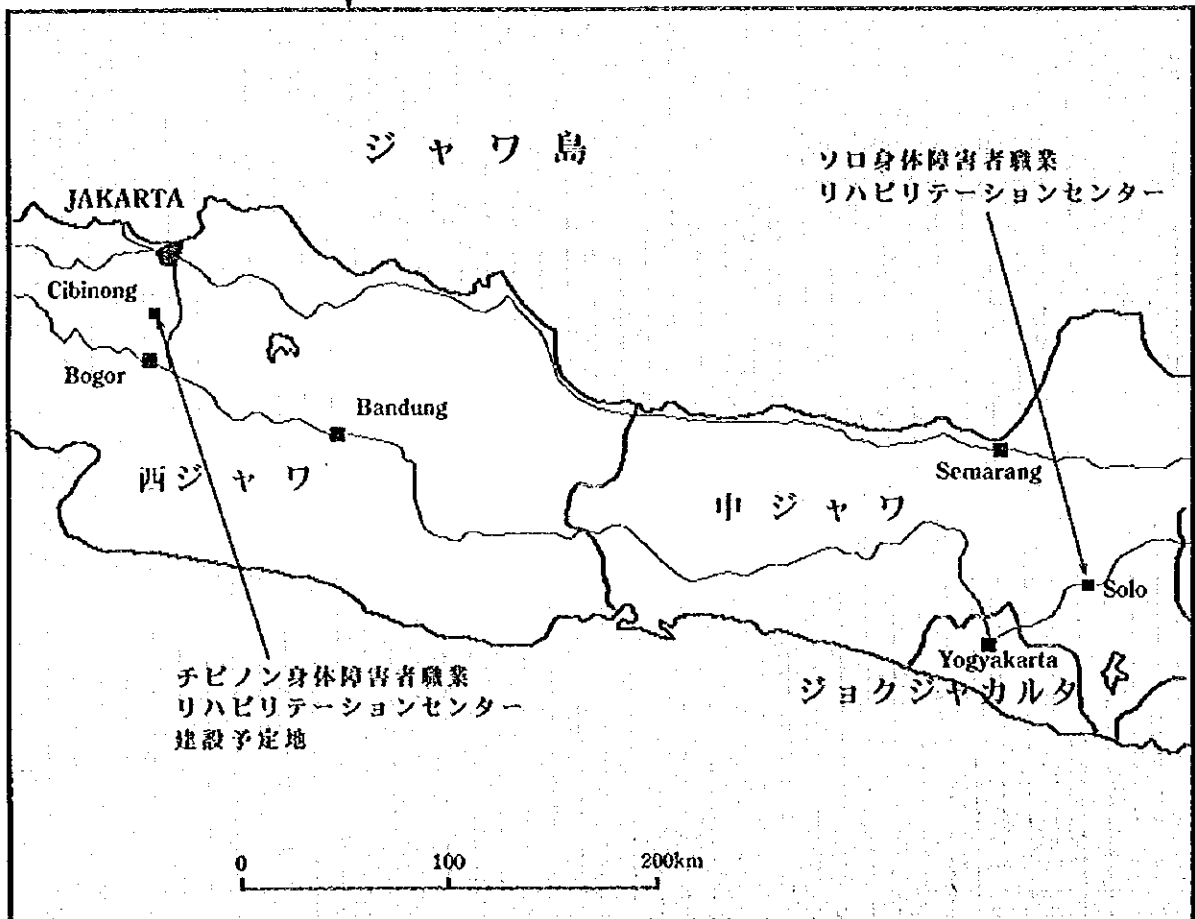
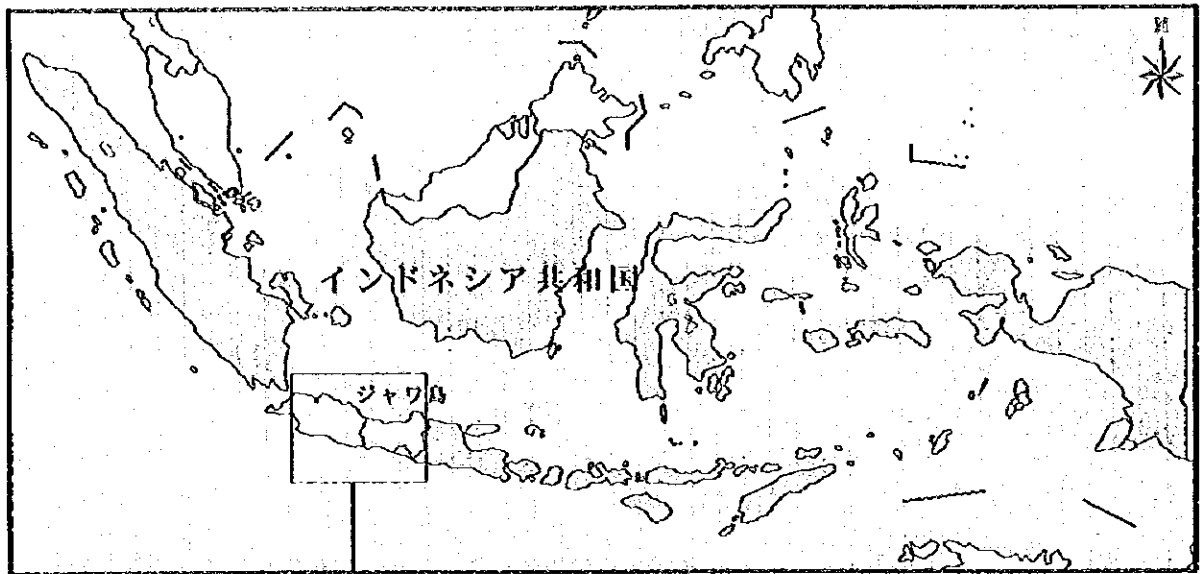
本報告書は、同調査団の調査・評価内容をとりまとめたもので、今後のプロジェクト展開に広く活用されることを望むものである。

ここに、調査団の各位をはじめご協力いただいた外務省、労働省、雇用促進事業団、日本障害者雇用促進協会、在インドネシア日本大使館など、内外関係各機関の方々に深く謝意を表するとともに、今後も一層のご支援をお願い申し上げる次第である。

平成8年2月

国際協力事業団
社会開発協力部
部長 後藤 洋

プロジェクトサイト位置図



目 次

序文

地図

1. 計画打合せ調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	3
1-4 主要面談者	4
2. 要約	5
3. 暫定実施計画の進捗状況	6
3-1 職業指導・評価分野	6
3-2 コンピューター訓練分野	8
3-3 縫製訓練分野	9
4. ナビノン国立障害者職業リハビリテーションセンター (NVRC)	13
5. 調査団所見	14
添付資料	
1. ミニッツ	17
付属資料	
1. 職業指導・評価関連資料	27
(1) 訓練生の評価結果	27
(2) 訓練生の属性	28
(3) 登録フォーム	29
(4) 職業指導・評価結果フォーム	32
(5) 障害者雇用状況アンケート	39

2. 縫製訓練関連資料	50
(1) 四半期活動報告	50
(2) 技術移転計画	53
(3) 縫製科カリキュラム	54
(4) 訓練機器関連資料	56
(5) 出席簿・訓練日誌・評価表	61
(6) カウンターパート名簿	64
(7) 職業指導・評価表	65
3. ソロ・リハビリテーションセンター機構図	66
4. ソロ・リハビリテーションセンター改装内容及び供与機材	67
5. インドネシアの障害者統計	68

1. 計画打合せ調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

インドネシア共和国は、第6次国家開発5か年計画（1994～1998）において経済成長とともに福祉の向上をめざし、社会省では、社会的不公平是正の観点から、障害者、低所得者、自然災害罹災者等社会的弱者への社会サービスの拡充をめざしている。

障害者数は、全人口1億9,000万人の3.11%、約570万人であり、うち、27%、約160万人が身体障害者である。これら身体障害者に対する社会サービスは、人的資源開発の観点から、障害者の職業能力向上に重点を置いており、全国5か所に身障者リハビリテーションセンターを設置している。

現在、ソロ身体障害者リハビリテーションセンター（ソロRC）は、これらのセンターの中核として、障害者のリハビリテーションの実施と指導者の育成を行っているが、今後より多くの障害者を対象にすること及び基礎的訓練のみならず労働市場のニーズにあった職業訓練を実施していくという課題を抱えており、指導者及び施設の不足が問題となっている。

このためインドネシア政府は、職業リハビリテーションのための指導者の育成、職業訓練コースの実施、評価技術官の養成、雇川情報の収集を内容とする一貫した職業リハビリテーションシステムの構築に関する技術協力を我が国政府に要請してきた。これに応じて国際協力事業団は、1994年12月からプロジェクト方式技術協力を開始した。

その経緯は以下のとおりである。

- ・1994年8月23日～9月6日：事前調査
- ・1994年10月25日～11月9日：実施協議調査
- ・R/D等署名日：1994年11月10日
- ・協力期間：1994年12月20日～1997年12月19日

今般、プロジェクト協力開始後約1年が経過し、1995年9月から訓練コースも開講されていることから、実施計画の妥当性の検討を行うため計画打合せ調査団を派遣することとなった。

本調査では、プロジェクトの進捗状況と問題点の把握を行い、討議議事録（Record of Discussions：R/D）及び暫定実施計画（Tentative Schedule of Implementation：TSI）締結後の詳細な年次計画を検討し、プロジェクト協力の適正化を図ることを主目的として、先方実施機関、プロジェクト日本人専門家との協議及び現状調査等を行った。

なお、インドネシア国政府は、新たにチビノン国立障害者職業リハビリテーションセンター（NVRC）建設に関する無償資金協力、技術協力を我が国に要請している。

1 - 2 調査団の構成

	担当業務	氏名	所 属
1	団長／総括 Leader	二川 一男 Mr. Kazuo FUTAGAWA	労働省職業安定局高齢・障害者対策部 障害者雇用対策課調査官 Investigation Officer of Employment Measures for the Disabled Division, Employment Security Bureau, Ministry of Labour
2	職業訓練行政 Vocational Training Administration	尾崎 正人 Mr. Masato OZAKI	労働省職業能力開発局海外協力課海外訓練協力官 Vocational Training Specialist, Overseas Cooperation Division, Human Resources Development Bureau, Ministry of Labour
3	職業訓練 Vocational Training	越智 誠司 Mr. Seiji OCHI	雇用促進事業団群馬職業能力開発短期大学校 専任講師 Lecturer, Gunma Polytechnic College, Employment Promotion Corporation
4	職業訓練 Vocational Training	谷 素子 Mrs. Motoko TANI	日本障害者雇用促進協会総務部次長（国際協力担当） Deputy Director, International Cooperation Department, Japan Association for Employment of The Disabled
5	協力企画 Cooperation Planning	高橋 敏雄 Mr. Toshio TAKAHASHI	国際協力事業団社会開発協力部社会開発協力第一課 Staff, First Technical Cooperation Division, Social Development Cooperation Department, JICA

1-3 調査日程

日 順	月 日 (曜)	活 動 内 容
1	1996/1/18 (木)	・成田発 11:00 (JL725) ジャカルタ着 16:35 (ジャカルタ泊)
2	1/19 (金)	・JICA事務所打合せ、サイト視察 (チビノン) (ジャカルタ泊)
3	1/20 (土)	・团长 成田発 11:00 (JL725) ジャカルタ着 16:35 (ジャカルタ泊)
4	1/21 (日)	・ジョグジャカルタ経由ソロへ移動 9:30 (GA4) (ソロ泊)
5	1/22 (月)	・ソロ・リハビリテーションセンター (ソロRC) との協議 (ソロ泊)
6	1/23 (火)	・ソロRCとの協議 ジャカルタへ移動 17:00 (GA405) (ジャカルタ泊)
7	1/24 (水)	・社会省との協議 (ジャカルタ泊)
8	1/25 (木)	・ミニッツ案協議、ミニッツ署名・交換 (ジャカルタ泊)
9	1/26 (金)	・大使館、JICA事務所報告 ・ジャカルタ発 23:40 (JL726) (機中泊)
10	1/27 (土)	・成田着 8:30

1-4 主要面談者

(1) 社会省 (Ministry of Social Affairs)

Dr. H. Susilo Supeno, Director General for the Development of Social Rehabilitation,
Drs. Rivai Mas Chief of Administration Division, Directorate of Rehabilitation
for the Disabled People
Drs. Waluyo Chief of Sub Directorate of Development of the Physically
Disabled Rehabilitation
Drs. Sedyo Mulyo Staff in charge of Cibinog Project

(2) ソロ身体障害者リハビリテーションセンター (National Rehabilitation Center for The Physically Handicapped Persons "Prof. Dr. Soeharso" Surakarta, Ministry of Social Affairs)

Drs. Waslan Syech Director
Drs. Radix Sukanto Chief of General Division
Drs. Srihadi Basuki Chief of Preparation Division
Drs. Istichfar Chief of Rehabilitation Service Division
Drs. Walsito Chief of Placement and Protection Division

(3) 日本大使館

樋口 清高 一等書記官

(4) 個別派遣専門家

八木 功 専門家 社会省社会リハビリ総局配属 (職業リハビリテーション政策)

(5) JICAインドネシア事務所

岡崎 剛一郎 所長
吉新 主門 所員

2. 要 約

(1) 現在までの活動状況

各協力分野とも現在までのところ暫定実施計画にしたがって順調に技術移転活動を実施している。

1) 職業指導・評価

訓練生の選考基準作り、企業に対するアンケートの実施、企業訪問の実施等の結果、企業からの就職予約が入りつつあるとの報告があった。企業訪問によって、企業における実習受入れの可能性を調査していることは、注目すべきである。

2) 職業訓練（コンピューター、縫製）

両訓練コースともより労働市場を見据えた訓練内容を設定し、従来型にはなかった実情を踏まえた実践的訓練を実施している。

(2) 日本側投入

専門家、研修員受入れ、機材供与ともに、妥当な規模と考えられる。

(3) インドネシア側投入

1) カウンターパートの要員配置

所長以下フルタイム、パートタイムを含め、22人が配置されており、量的には充足している。資質に関しても比較的良好といえる。

2) 予算、施設・設備

チーフアドバイザー室、専門家室の確保、各協力分野のワークショップの改修、電源・照明等について、事前調査、実施協議を通じて要求していたレベルを十分満足させる範囲で用意されていた。特筆すべきは、先方予算で、ライトバン車両が一台用意されていたことである。

(4) チビノン国立障害者職業リハビリテーションセンター（NVRC）

ソロRCは、社会リハビリセンター、NVRCは、労働市場に直結した職業リハビリセンターとしての位置づけであること、現在のソロRCの職業リハビリシステム（職業訓練、職業指導・評価）をチビノンのNVRCに移転し、ソロのプロジェクトで創設した職業訓練（コンピューター、縫製）は、ソロとチビノンの両センターで実施する意向であることを確認した。

3. 暫定実施計画の進捗状況

3-1 職業指導・評価分野

評価機材の搬入が1995年7月の半ばにずれ込んだことから技術移転の開始が遅れたが、職業指導・評価システムの基礎づくりが出来つつある。

1月23日(火)に、職業指導・評価の山田文典長期専門家、6名のカウンターパート(DRS. SRIHADI, DRS. WARSITO, DRA. RATNA KUMALA, DRS. BUDI HARUTONO, DRS. MUH ROJI, MR. TRIYANTO)から、業務の進捗状況を聴取した。業務の推移、各業務ごとの実施内容について、以下に記す。

(1) 業務の推移

各四半期ごとの業務の進捗状況は以下のようである。

- 1) 平成6年度第4四半期(1995年1～3月)：1月18日の長期専門家着任以来、住宅探し、事務所の整備・改善、機器据え付け・調整、現状把握のための各種統計資料の収集を行った。
- 2) 平成7年度第1四半期(1995年4～6月)：事実上の業務開始期。機器据え付け・調整、現状把握のための各種統計資料の収集を行うとともに、以下の業務を実施した。
 - a. 訓練生の募集活動
 - b. 選考基準の作成
 - c. テストマニュアルの作成、評価法の研修
 - d. 新年度業務計画、C/P研修計画の策定
 - e. 職場開拓の対象となる事業所のリスト作り
- 3) 平成7年度第2四半期(1995年7～9月)：
 - a. 訓練対象者の選考、決定(職業評価・指導の実施)
 - b. コンピューター、縫製関係の事業所訪問
 - c. 事業所アンケート調査の実施
 - d. 日本に関する情報提供及び日本語研修の実施
- 4) 平成7年度第3四半期(1995年10～12月)：
 - a. 事業所訪問等による職場開拓
 - b. テストマニュアル及び職業評価指導ガイドブックの改訂
 - c. 職業指導用資料収集・作成、職業指導の実施
 - d. 業務統計の作成

(2) 各業務ごとの実施内容

職業指導・評価の業務の流れは、以下のものである。

- ・ Preparation (募集、登録等)
- ・ Vocational Guidance & Assessment (職業指導・評価)
- ・ Placement (就職、フォローアップ等)

以下、業務ごとに実施した内容を述べる。

1) Preparation (募集、登録等)

1995年4月に地方の社会事務所に通知したところ、7月初めに34名の応募があった。

従来の基準と比べ、就職可能性の高い障害者を対象とすることとし、地方の社会事務所に通知した。

2) Vocational Guidance & Assessment (職業指導・評価)

- a. 評価を行うに先立ち、インドネシア語版のテストマニュアルを作成するとともに、職業評価の概要、観察技法、WAIS知能検査を研修した。
- b. 選考スケジュールを作成し、7月半ばから半月にわたり評価、面接を行った。評価は、身体的能力、知的能力、職業的能力、社会的能力の4つの側面から行った。評価結果を付属資料1.(1)に示す。
- c. 8月に関係者によるケース会議で訓練生を選定した。身体面、精神面等に問題のない者を対象に、コンピューターの訓練生にはWAIS知能検査結果を重視し、縫製の訓練生には手先の器用さを重視して、各10名の訓練生を決定した。訓練生の属性を付属資料1.(2)、登録フォームを同(3)、職業指導・評価結果フォームを同(4)に示す。
- d. 訓練生入所後、訓練との適応度、問題のあるケースなどについてケース会議を開催した。また、必要に応じ、相談・指導を実施した。

3) Placement (就職、フォローアップ等)

- a. 4月から6月に、中央ジャワ、ジョグジャカルタにある事業所のうち、職場開拓の対象になる事業所リストを、労働事務所、事業主団体(アピンド)等の協力を得て作成した。
- b. 7月から9月に、リストアップした事業所に対して、付属資料1.(5)に添えた障害者雇用の状況についてのアンケートを実施した。平成7年度末には、調査結果報告書にとりまとめ、事業所等に配付する予定である。
- c. 雇用可能性の高い事業所及び職場実習受入可能性のある事業所を中心として、57事業所を訪問し、職場開拓した。1996年1月から2月にも、職場開拓の追加を実施することになっている。現在、コンピューター17名、縫製18名の雇用予約がある。

3-2 コンピューター訓練分野

協力開始1年経過後の本プロジェクトのコンピューター訓練について、実施計画の妥当性を検討するため、以下の項目につき、資料調査ならびに現地長期専門家、C/Pに対するインタビューにより進捗状況調査を行った。

(1) 現地企業調査、訓練生募集

本プロジェクトの職業指導評価分野スタッフとの連携により、頻繁に労働市場調査、企業訪問を行っており、計画されていた以上に、職業訓練分野及びC/P自身の企画能力へのフィードバック効果が現れている。

(2) 訓練計画

全般的に訓練計画どおり順調に訓練を実施している。一部の科目において若干、遅滞があるが、これは、コンピューター機器のメンテナンス及びその運営管理技術の習得の負荷が重なったためと考えられる。C/Pは、教授技術習得のほか運営管理技術の習得の必要性を認識し始めた。今後、カリキュラムにおける応用訓練において、これによる計画遅滞を検討しなければならない。

(3) 教科書教材作成

教科書教材作成指導のもと、計画より早く教材を完成させている。コンピューター分野の特徴上、英語文献が必要だが、自己啓発意欲のあるC/Pにとって、現地での書籍の高価格はボトルネックとなっている印象を受けた。

(4) 訓練機材

現時点において、特に問題はない。今後、現在のシステム性能からすると、コンピューターソフトウェアのバージョンアップに伴うネットワーク設計のリメイク時に障害が起きるのは必至である。ただし今後2～3年の間は、周辺装置増設で対処可能。

(5) C/P日本研修計画

現時点で、計画通り1995年9月28日から同年12月23日までの3か月間、雇用促進事業団会津ポリテクセンターへC/P1名、研修受入れを行った。インタビューの結果、C/P本人の知識技能の習得のほか、本分野における興味ならびに動機付けに寄与していることがうかがえた。

3-3 縫製訓練分野

職業訓練（縫製）の棚橋清枝長期専門家及びC/Pを交え、協力開始から現在までの縫製科活動状況について調査を実施した。結果は以下のとおりである。

(1) 専門家業務活動

職業訓練（縫製）の棚橋長期専門家は、1995年3月15日にソロに赴任して以来、約9か月が過ぎ、この間生活環境の整備や現地語の学習、C/Pや現地関係者との信頼関係の構築など精力的に業務を遂行していると思われる。

専門家業務活動については、四半期活動・成果概要が第1四半期から第3四半期まで報告されているので、付属資料2.(1)を参照されたい。

(2) 技術移転状況

前述のとおり、棚橋長期専門家は、ソロに赴任して約9か月しか経過しておらず、具体的な成果をペーパーにまとめるにいたっていないが、これまでのところインドネシアで実施されてきた従来の方式を調査・研究している段階であり、その進め方を尊重している。しかしながら、グループトレーニングにおいては、工場生産方式の考え方と実践を積極的にとり入れていきたいとしている。また、平成8年度からは今年度をもとに本格的に技術移転を実施していく予定である。

なお、今回の調査団訪問中に平成7年度短期派遣専門家小熊佳治氏（縫製「紳士服」1996.1.16～2.10）が派遣されており、C/Pへの技術移転状況を見学できた。

C/Pとの打合せの結果、縫製部門については技術移転計画が出来上がっている。これを付属資料2.(2)に示す。

(3) 訓練コースの準備状況

1) 訓練計画（カリキュラム・シラバス等）

a. 職業訓練（縫製科）の目的

ア. パンチャシラ精神に基づくインドネシアの身障者の教育訓練を通し、身障者の地位向上をめざす。

イ. 縫製の労働市場需要に応えられる技術と職業意識を付与する。

ウ. 所定の訓練を修了後も技術・技能を自身で習得する能力を付与し、自立を促進する。

b. 縫製科資格要件

ア. 中学校以上を卒業していること。

イ. 下肢障害者で、年齢は19歳から30歳まで。

ウ. IQが平均的であること。

エ. 中部ジャワ州もしくはジョグジャカルタ特別州に居住していること。

c. 訓練期間

縫製科の訓練期間は、10か月もしくは総時間1,200時間とする（ただし、1時間は45分とする）。

d. 訓練目標

縫製科のカリキュラムを修了すると、訓練生は次のことができる。

ア. パターン図、デザイン、段取り、採寸、裁断、縫製ができるようになる。

イ. 生地/material選択等ができるようになる。

ウ. さまざまな種類の縫製機械を正確に使用できること。

エ. 機器の安全な取扱い、安全衛生の知識が備わる。

オ. 職業用ミシンを取り扱える技術が備わる。

e. 縫製科訓練計画

・縫製科訓練計画は、基本技術、中級技術、実践技術の3レベルに分けられる。

修了資格は、国家検定資格として取り扱われる。特に、パターン製作及び採寸技術は国際標準として取り扱われる。

・訓練科目は5つに分類できる。

ア. 基礎科目

パンチャシラ思想による道徳的授業

イ. 理論及び実習

縫製を職業とするために必要な技術・技能、知識

ウ. 補講

縫製を職業とするために必要な技術・技能、知識についての補習授業

エ. 評価と復習

縫製を職業とするために必要な技術・技能、知識についての評価

オ. 企業内訓練 (OJT)

職場環境に適応できるための実務実習

以上から設定された縫製科カリキュラムは付属資料2.(3)のとおりである。

2) 教材・教科書の整備状況

技術移転計画の大きな柱のひとつとして訓練教材の作成があるが、初年度及び次年度は、試行訓練教材の作成となっている。3年目からは、本格的に訓練教材の作成に入り、そのノウハウはチビノンの職業リハビリセンターに受け継がれていくと思われる。

縫製科のテキスト作成は、他の訓練職種とは趣を異にしている。電気、機械等の訓練職種では、理論、原理、知識を学ぶための学科教科書があり、また実習用の実技教科書が用意されている。しかしながら、紳士服、婦人服にしても縫製の場合は、学科教科書、実技教科書が少なく、ほとんどの場合パターン図集、デザイン図集、スタイル画等となっている。日本においても紳士服、婦人服について、実技教科書・参考書といった書籍は稀少である。インドネシアにおいては、市場調査の結果、ほとんどの場合パターン図集、デザイン図集、スタイル画となっていて、学科、実技的教科書が見当たらない。

そのため、ソロRCにおいても学科教科書、実技教科書、参考書といったテキストの概念よりも、パターン図集、デザイン図集といったジョブシートを中心とした訓練教材の作成となっている。ただし、C/Pの作成したパターン図集、デザイン図集、スタイル画のテキストは図と寸法が主で、それだけでは自学自習や理解を助ける補助的説明がないので、専門家と一緒に図の説明や関連する周辺の情報を盛り込み、実技教科書・参考書に近い工夫を行っている。

3) 実習訓練設備

a. 実習場の設備について

通風を考慮してか、出入口が左右2か所設けてあった。中は蒸し暑くはなかった。

採光は十分であり、また照明についても手元の作業を行うのに十分な明るさが確保されていた。インドネシアの場合、暑さの関係から窓を小さめにして室内を暗めにする傾向があるが、縫製の実習場の場合十分な明るさが確保されている。

また、タイル床は最近補修されたのか真新しく、タイルも明るいクリーム色で、実習場全体が明るい雰囲気に含まれていた。

作業台は、下肢障害者を配慮して少し低めに作られているのか、使い良さそうに見えた。

ミシン等の縫製機器のための電源は、場所が自由に選択できるよう天井レール式になっており、大電力を使用しない機器が多い縫製科としては十分であろう。一部スパイラルコード（使用時のみ手元まで延ばし、使用しないときは上にあげておく上下自在コード）が未納で不足していると聞いているが、いずれ整備されると思われる。

b. 訓練機器の整備と操作・管理方法について

現地調達で平成6年度訓練機器はすでに納入されている。

平成7年度訓練機器は一部納入されているが、全部ではない。

また、平成8年度申請訓練機器についても作成済みである。以上、納入済みの訓練機器と操作・管理、平成7年度訓練機器及び同8年度申請訓練機器リストは付属資料2.

(4)のとおりである。

プロジェクトの訓練機器の整備とは別に、南南協力支援のセミナーのため整備されたミシンがある。調査団の訪問時にこの機器の整備を短期派遣の小熊専門家が担当していた。

4) その他収集資料

- a. 出席簿 (1996年1月の例：生徒が各自サインをする)、訓練日誌 (その日の訓練内容を当番の生徒が記入、コメントを教師が記入する)、縫製実習評価表 (実習内容と実習実施期間及び縫い方、整然／几帳面さ、スタイル図の良し悪し等の評価) を、付属資料2.(5)に示す。
- b. 縫製科C/P名 (Pはパートタイム、Fはフルタイム) を付属資料2.(6)に示す。
- c. 職業指導・評価表 (各項目について評価を出し、総合的に判断する) を付属資料2.(7)に示す。

4. チビノン国立障害者職業リハビリテーションセンター (NVRC)

ソロRCは、社会リハビリテーション、NVRCは、労働市場に直結した職業リハビリテーションセンターとしての位置づけであることを確認した。

現在のソロRCの職業リハビリシステム（職業訓練、職業指導・評価）をチビノンに移転し、ソロのプロジェクトで創設した職業訓練（コンピューター、縫製）は、ソロとチビノンの両センターで実施する意向であることを確認した。同レベルの訓練が2センターで実施されるため、両者のデマケーションを今後明確にする必要がある。

職業訓練、調査研究（R&D）については、NVRCの活動を中心としたいとの意向である。

ソロRCの自立発展性については、今後、プロジェクトが終了し、政府部内で成果が認められれば経常予算が配分されるようになり、十分確保されるとのことである。

チビノンに配置替えされる職員については、ソロRCで現在、選考が進みつつあるが、今後、社会省本省においても円滑なプロジェクト推進のため早期に候補者選考を開始するよう勧めた。

サイト予定地を視察したが、土地造成は進んでいるものの、隣接民家との間の擁壁は、無償調査団が指摘しているとおおり、今後、十分な改修が必要と思われる。この点は先方も十分認識しており、国家開発企両庁（BAPPENAS）から予算がつく予定であり、無償の建物建設に間に合うであろうとの回答があった。

訓練科目の内容のうち、小型エンジン修理、家電修理は、日本における専門家のリクルートが困難であることから技術協力分野として検討を要することは、無償調査団により確認されているが、今回、これを再度確認したところ、当該訓練については、インドネシア側で講師を手当する用意がある旨表明があった。

5. 調査団所見

(1) 職業指導・評価分野

1996年7月の第1期修了生の就職、第2期生の募集・選定に向け、さらにシステムの充実を図ることが必要である。

具体的には、下記の事柄を実施することが今後の課題と言えよう。

1) 評価の充実

第1期生の評価では、評価機材の搬入と入所生の決定時期が短かったため、評価期間が半月足らずで、検査方法も限定されていた。訓練生を適切に選考するためには、さらに十分な時間を取って、多くの評価・観察を行う。

また、評価データを蓄積して、インドネシアの評価基準を作る。

2) 就職活動の充実

事業所についての情報を整備して、職場実習、職場開拓等、事業所へのアプローチをより計画的、積極的に行う。

3) フォローアップ体制の確立

修了生が職場定着できるよう、フォローアップ体制を確立し、実行する。

(2) コンピューター訓練分野

コンピューター訓練について、技術移転はほぼ計画どおりに進行している。単なる技術移転に留まらず、C/P自ら問題を発掘し、その問題を解決するような企画能力の進展が強く感じられた。本プロジェクトにおける職業リハビリシステムの確立は、NVRCでさらに発展しなければならないものであることを考えると、この傾向は自立に向けた良い兆候と判断できる。

(3) 縫製訓練分野

教科書については、今後もパターン図集、デザイン図集を中心に訓練教材を作成することになると思われるが、テキストの作成についてはインドネシア側の諸事情により、3人のフルタイムC/Pと2人のパートタイムC/Pが訓練の合間や終了後に作成するようなシステムではないため、教材・教科書の整備を計画的かつ効率的に実施するためには、何らかの策を講じなければ協力期間内の完成は難しいように思われる。

教材・教科書の整備は実習項目ごとに作成中であり、まだ成果物としての教材・教科書は整備されていない。

添 付 資 料

1. ミニッツ

THE MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE CONSULTATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT FOR DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION SYSTEM
IN THE NATIONAL REHABILITATION CENTRE FOR THE PHYSICALLY DISABLED PEOPLE,
PROF. DR. SOEHARSO, SURAKARTA

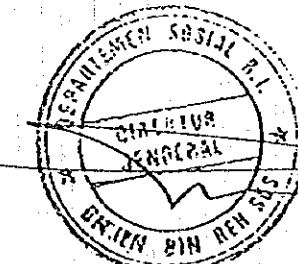
The Japanese Consultation Team (hereafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereafter referred to as "JICA"), headed by Mr. Kazuo FUTAGAWA visited the Republic of Indonesia from January 18 to January 26, 1996 for the purpose of reviewing the activities so far and working out the future plan concerning the project type technical cooperation for The Project for Development of Vocational Rehabilitation System in the National Rehabilitation Centre for the Physically Disabled People, Prof. Dr. Soeharso, Surakarta (hereafter referred to as "the Project").

During its stay in the Republic of Indonesia, the Team observed the over-all progress of the Project, and exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned for the smooth and successful implementation of the Project.

The result of the discussions is attached hereto.

Jakarta, January 25, 1996

ニッ - 男
Mr. Kazuo FUTAGAWA
Leader,
Consultation Team,
Japan International Cooperation Agency,
Japan



Dr. H. Susilo Supeno
Director General
for the Development of Social Rehabilitation
Ministry of Social Affairs,
The Republic of Indonesia

K.F.

ATTACHED DOCUMENT

1 Administration and Implementation of the Project

1.1 Reconfirmation of Record of Discussion

Both sides reconfirmed the Project Organization and Project Purpose prescribed in the Record of Discussion for Implementation of the Project signed on November 3, 1994 at Jakarta. (hereinafter referred to as "the R/D").

2 Activities of the Project

2.1 Progress of the Project

Both sides reviewed the progress of the Project and came to the conclusion that as a whole, the Project has achieved the expected objectives and activities in line with the Master plan of the R/D and the Tentative Schedule of Implementation.

2.2 Technology transfer

Technology transfer is observed almost smoothly carry out according to the Master plan through on-the-job training for counterpart personnel. Both sides agreed that they should made every effort to perform the Project successfully and to transfer the technology effectively.

2.3 Preparation and implementation of the Training courses

The Training courses i.e. Computer and Machine sewing have been successfully introduced since September 1995.
Curricula and syllabi are shown in ANNEX I

2.4 Preparation and Implementation of the Vocational Guidance and Assessment

Following activities are reported;

2.4.1 Introduction of Assessment Test

2.4.2 Research on labor market

- Listing of companies
- Sending questionnaire to companies
- Visit to several companies to have a dialog on possibility for acceptance of in-house training and for employment from Solo R.C.

3 Inputs of the Project

3.1 Indonesian side

The Team expressed its high estimation to the Indonesian effort in order to secure the Project implementation.

K.F.

3.1.1 Project budget

Necessary budget has been allocated as shown in annex II
The Team asked to execute the budget for Machine sewing as soon as possible.

3.1.2 Premises and Facilities

Necessary measures has been taken.
-Office equipment, furniture, air conditioners and a car have been provided.
-Renovation of the each workshop i.e. Guidance/assessment, Machine sewing and Computer has been done.
-Chief advisor room and Japanese expert room have been prepared.

3.1.3 Allocation of Personnel

Director of Solo RC
Administration 6 personnel
Guidance/Assessment 6 personnel
Machine sewing 3 personnel
Computer 4 personnel
Vocational training management staff 2 personnel

3.2 Japanese side

3.1.1 Dispatch of experts

-Long-term expert

Five long-term experts have been continuously assigned to the Project.
Chief Advisor
Coordinator
Guidance/Assessment
Vocational Training (Machine sewing)
Vocational Training (Computer)

-Short-term expert

-In Japanese fiscal year of 1995
Three short-term experts has been dispatch.

3.1.2 Counterpart personnel training in Japan

-In Japanese fiscal year of 1994
Three counterparts were accepted.
-In Japanese fiscal year of 1995
Three counterparts were accepted. One counterparts is to be accepted.

3.1.3 Provision of machinery and equipment

The provision of the equipment planned in the Japanese fiscal year 1994 and 1995 was performed almost as scheduled in the R/D.

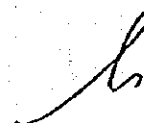
K. F.



4 National Vocational Rehabilitation Centre

Indonesian side explained the Terms of Reference of National Vocational Rehabilitation Centre in Cibinong for the Japanese Project type technical Cooperation, and both sides exchanged the views on it. The Team will convey the result of discussion on the NVRC in Cibinong Project. However, to determine the implementation of the NVRC in Cibinong will need further discussion among Japanese authorities concerned.

K.F.



CHAPTER IV
CURRICULUM VOCATIONAL TRAINING : MACHINE SEWING

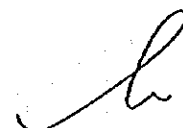
A. CURRICULUM OF VOCATIONAL TRAINING MACHINE SEWING

NO	SUBJECT OF TRAINING	TIME	DETAIL OF SUBJECT
1	INSTITUTIONAL GENERAL GROUP 1.1. (P4) PANCASILA 1.2. ARCHIPELAGO INSIGHT 1.3. WORK MOTIVATION 1.4. JOB RELATION	15 15 15 15 <u>60</u>	
2	BASIC GROUP 2.1. OPERATE VARIOUS SEWING SEWING	50	OPERATION MAINTENANCE
3	MAIN GROUP 3.1. SKIRT 3.2. TROUSERS 3.3. SHIRT 3.4. BLOUSE 3.5. DRESS 3.6. JACKET 3.7 EVALUATION 3.8 GROUP SEWING	75 75 111 111 98 240 30 100 <u>840</u>	- PLANNING CLOTHES - BODY MEASUREMENT - MAKING PATTERN - CUTTING - SEWING - FINISHING - MACHINERY - MAKING BUTTON HOLE - INSERT BUTTON - IRON
4	COMPLEMENT GROUP 4.1. WORK SAFETY 4.2. PRODUCTIVE IMPROVEMENT	70 30 <u>100</u>	SAFETY OPERATION AND HEALTH CARE
5	ON THE JOB TRAINING	150	PRACTISING AT COMPANIES AND INDIVIDUAL TRAINING
	TOTAL	1200	

MAIN GROUP

SUBJECT	HOURS	SKIRT	TROUSERS	SHIRT	BLOUSE	DRESS	JACKET
3.1. PLANNING CLOTHES	80	10	10	10	10	10	30
3.2. BODY MEASUREMENT	40	5	5	6	8	8	10
3.3. MAKING PATTERN	100	10	10	15	20	20	30
3.4. CUTTING	80	10	10	15	10	10	20
3.5. SEWING	300	30	30	50	40	40	120
3.6. FINISHING	90	10	10	15	10	10	30
TOTAL	710	75	75	111	111	98	240

K.F.



COMPUTER

THE TRAINING PROGRAM FOR THE YEAR (1995 / 1996)

MONTH	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
WEEK																																																				
DAY																																																				
HOLIDAY																																																				
DAY / WEEK																																																				
HOURS / WEEK																																																				
SUBJECT																																																				
CHARGE																																																				
TIME																																																				
NOT TYPING																																																				
WORDSTAR																																																				
MORO PERFECT																																																				
MS-DOS 1																																																				
MS-DOS 2																																																				
MS-DOS 3																																																				
WINDOWS																																																				
Q-BASIC																																																				
REVIEW																																																				
BASIC THEORY SUBTOTAL																																																				
ADVANCE THEORY SUBTOTAL																																																				
THEORY TOTAL																																																				
REVIEW																																																				
ADVANCE THEORY SUBTOTAL																																																				
THEORY TOTAL																																																				
REVIEW																																																				
ON THE JOB TRAINING																																																				
ADVANCE PRACTICE SUBTOTAL																																																				
PRACTICE TOTAL																																																				
THEORY + PRACTICE TOTAL																																																				
MONTH TIME																																																				
REMARK																																																				

R
E
M
A
R
K
X

K.F.

INDONESIAN SIDE BUDGET FOR THE PROJECT

(DEC. 1994 - DEC. 1995)

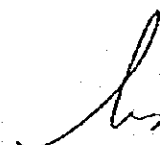
(unit; Rp.)

Salary	Renovation & Office supplies	Running cost	Official Trips	Material for Training	total
42,895,078	235,423,776	80,422,480	24,300,000	18,800,000	401,841,334

1 Material for Training is for Computer training only, which is not include cost for Machine sewing.

2 All figures is based on payment.

k.f.



付 属 資 料

1. 職業指導・評価関連資料
2. 縫製訓練関連資料
3. ソロ・リハビリテーションセンター機構図
4. ソロ・リハビリテーションセンター改装内容及び供与機材
5. インドネシアの障害者統計

資料 1. 職業指導・評価関連資料

(1) 訓練生の評価結果

NO	NO REGIST	NAME	PHYSICAL CAPACITY						MENTAL ACHIEVEMENT						VOCATIONAL						SOCIAL COMPETENCY				
			WEIGHT		SIGHT		JUMP		GRIP		VERB		PERF		TOTAL		ENGL		MATH			MANUAL		FINGER	
			HIGH	W	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	M	TOTAL	Q	P	TOTAL	M		TOTAL	Q	P	TOTAL
1	017C-C95	SUGIARTO	157	46	1.2	1.0	3.41	42	42	106	104	107	80	92.5	85	72	152	22	24	46					
2	027C-C95	SIGIT PRAMONO	163	46	1.2	1.5	3.72	44	46	103	102	104	85	80	66.5	78	162	23	16	39					
3	037C-C95	MARGONO	162	46.5	1.5	1.5	3.52	39	42	116	108	104	50	60	45	80	169	23	29	52					
4	057C-C95	PRATIWININGSIH	152	53	1.0	1.0	2.3	35	35	92	90	91	65	75	25	63	146	16	21	39					
5	067C-C95	EMILITA KHARDINALI	149	49	1.0	1.0	2.46	25	15	101	97	99	70	80	40	79	171	24	26	50					
6	077C-C95	MUH EKO SETIAWAN	160	49	1.2	2.0	3.73	40	70	119	104	114	85	75	58	72	160	18	23	41					
7	087C-C95	AGUS PREMOMO	158	47	1.5	2.0	2.28	50	50	104	72	90	80	80	96	60	156	23	29	55					
8	097C-C95	SURYANINGSIH	156	40	1.5	1.5	2.11	30	27	103	90	97	90	90	40	62	169	23	30	53					
9	107C-C95	CONOT MUROI WINDRAWAN	165	50	1.2	1.5	3.99	44	41	110	99	106	77.5	55	82	165	24	20	50						
10	117C-C95	RUSWANTO	162	44	1.5	1.5	2.44	46	37	100	76	89	50	82.5	40	72	153	20	17	37					
11	127C-C95	WINA SARI KUSUMANINGRUM	136	31.5	1.0	1.2	2.12	17	15	103	83	95	90	90	40	67	146	20	27	47					
12	137C-C95	DARYATI	146	39	1.5	1.5	2.1	20	18	98	81	90	90	90	30	76	133	20	25	45					
13	147C-C95	MUH. DEDDY SANTOSA	155	47	1.5	0.4	4.08	5	45	111	98	106	80	92.5	25	70	156	23	21	44					
14	157C-C95	AGUS WAHYU WIDODO, SH	155	57	1.5	1.2	3.02	45	38	107	108	108	90	92.5	55	64	150	20	28	48					
15	167C-C95	KISWINARTO	159	47	1.2	1.5	3.44	28	44	109	103	107	90	97.5	60	74	160	28	29	57					
16	177C-C95	SUGIAN NOOR	156	59	1.2	1.0	2.36	0	35	103	94	98	80	77.5	20	52	177	11	11	22					
17	187C-C95	MARTINI	142	39	1.0	0.9	2.81	28	22	116	93	106	65	87.5	60	66	159	23	26	49					
18	197C-C95	SUNANTO	163	49	1.5	2.0	4.69	50	39	110	95	104	70	87.5	63	74	154	16	26	44					
19	207C-C95	WARTO	163	50	1.5	1.2	3.44	37	34	129	104	120	90	90	63	70	153	23	30	53					
20	017C-S95	KUSPRIYANTO	157	49.8	2.0	2.0	3.74	40	46	92	90	91	30	60	21.5	68	154	21	23	44					
21	027C-S95	SUTRISNO	163	43.6	1.5	1.5	3.35	33	31	77	76	75	10	5	40	62	142	23	21	44					
22	037C-S95	PAWITNO	157.5	43.3	1.2	0.9	2.65	0	104	89	97	63	52.5	40	49	103	12	11	23						
23	047C-S95	WIDI HASTO NUGRONO	158	46.2	0.6	1.5	3.29	38	34	101	91	96	55	20	30	74	152	18	23	41					
24	057C-S95	LUKAS	161.5	43.5	1.2	0.7	2.77	21	16	101	96	98	50	60	50	83	173	44	24	68					
25	067C-S95	SITI HANDAYANI	152.5	36.4	1.5	1.5	2.48	30	25	92	95	93	65	62.5	35	72	153	25	24	49					
26	077C-S95	MUSTAMIR	163	57.5	1.5	1.5	3.81	55	50	106	99	103	75	90	81.5	70	151	20	25	45					
27	087C-S95	SUGIYEM	141	40	0.5	0.6	2.4	20	18	103	66	87	50	27.5	43.5	64	139	16	16	32					
28	097C-S95	SRI MURTATIK	150	42.8	1.2	1.2	1.96	27	23	92	80	86	50	30	35	74	165	21	25	46					
29	107C-S95	SAMIDI	157	43	2.0	1.5	4.73	36	39	100	96	99	50	47.5	35	62	136	21	26	47					
30	117C-S95	NOR ROHMAN	155	44	1.5	1.5	2.73	40	30	112	97	106	80	75	45	68	149	19	23	42					
31	127C-S95	SUSANTO	162	53	0.8	0.8	2.92	42	38	107	89	99	60	90	40	80	171	23	20	43					
32	137C-S95	RUFAN	138	47	1.0	1.0	2.79	39	34	108	85	98	50	55	33.5	68	138	19	20	39					
33	147C-S95	KARDO	153	44	1.2	2.0	2.8	40	40	89	80	84	30	10	20	64	138	16	24	40					
34	157C-S95	SITI MARYAMAH	145	40	1.5	1.5	2.24	23	19	114	94	106	70	30	50	62	149	23	22	45					
Count			155.1	46.0	10.1	32.9	33.4	67.1	68.5	46.9	70.5	151.6	22.3	23.3	45.6										
Average			7.9	5.2	0.7	13.0	12.6	17.9	25.0	14.4	6.2	16.4	6.8	3.8	9.1										
Standard Deviation (SD)			166.9	53.8	11.1	52.5	52.3	93.9	107.1	67.4	82.8	176.2	32.6	28.9	59.2										
5 Stage Evaluation			159.0	48.6	10.4	39.4	39.7	76.0	81.3	53.1	74.6	159.8	25.7	25.2	50.1										
AVE+1.5SD			151.0	43.5	9.7	26.4	27.1	58.1	55.7	38.7	65.4	143.5	18.9	21.4	41.0										
AVE-0.5SD			149.0	38.3	9.0	13.3	14.6	48.2	49.2	24.4	58.2	127.1	12.0	17.8	31.9										
AVE-1.5SD			141.0	36.3	8.3	11.3	12.1	40.2	45.5	21.0	52.0	115.0	10.0	15.0	26.0										

(2) 訓練生の属性

*** CLIENTS DATA OF TECHNICAL COOPERATION ***

31/Oct/1995

1 APPLICANTS & TRAINEES

(Person)

Year	Total	Machine Sewing	Computer
1995/1996 (Applicant) Trainee	(34) 20	(15) 10	(19) 10

2 TRAINEES

(Person)

(1) Sex

Year	Total	Male	Female
1995/1996	20	15	5

(2) Age

(Person)

Year	Total	19-24 Years Old	25-30 Years Old
1995/1996	20	18	4

(3) Senders

(Person)

Sender	Total	1995/1996	1996/1997	Comments
Total		20		
Surakarta		3		
Kudus		3		
Yogyakarta		2		
Grobogan		2		
Cilacap		2		
Semarang		2		
Wonosobo		1		
Demak		1		
Teanggung		1		
Banjar Negara		1		
Karanganyar		1		
Magelang		1		

(4) Education

(Person)

Year	Total	Junior High	Senior High	University
1995/1996	20	8	11	1

(5) Disabilities

(Person)

Disabilities	Total	1995/1996	1996/1997	Comments
Total		20		
Paralysis 運動麻痺		10		
Atrophy 萎縮		6		
Contracture 肘の拘縮		1		
Amputation 切断		1		
Deformity 奇形		1		
Others		1		

(6) Cause of Disabilities

(Person)

Year	Total	Congenital	Disease	Accident
1995/1996	20	3	15	2

(Note) Most of "Disease" are Poliomyelitis. (ポリオ=急性灰白髄炎)

(7) Age of getting Disabilities

(Person)

Year	Total	~5 Year	~10Year	~20Year	21Year~
1995/1996	20	19		1	

(3) 登録フォーム

PROJECT FOR DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION SYSTEM A-01
IN THE NATIONAL REHABILITATION CENTRE FOR THE PHYSICALLY DISABLED PEOPLE
PROF. DR. SOEHARSO SURAKARTA
TECHNICAL COOPERATION BETWEEN THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA - JAPAN
=====

REGISTRATION FORM

Number : _____/TC/_____/19_____

Dormitory : _____

1. Name : _____ Notes concerning :
disability
2. Place & Date of Birth : _____ a. _____
3. Sex : _____ b. _____
4. Marital status : _____ c. _____
5. Nationality/Race : _____ d. _____
6. Religion : _____
7. Home Address : _____
8. Cause of Disability : _____
9. When disability is obtained : _____
10. Education : _____
11. Efforts to be avoided : _____
12. Job Experience : _____
13. Vocational Rehabilitation : Computer / Sewing Machine
14. Training has been followed : _____
15. Social Assistance has been received : _____
16. Receiving from Local Social Affairs : _____
Office by the letter of date & Number
17. Transportation Budget : _____
18. Other information/remarks : _____

Surakarta, _____

The Registered

The Registration, Observation
and Identification Section

PROJECT FOR DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION SYSTEM
 IN THE NATIONAL REHABILITATION CENTRE
 FOR THE PHYSICALLY DISABLED PEOPLE PROF.DR.SOEHARSO SURAKARTA
 TECHNICAL COOPERATION BETWEEN THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
 INDONESIA - JAPAN

MEDICAL OFFICER'S REPORT

NAME :	AGE	YEARS OLD	SEX	M / F	REG. NO :	/SL/ /TL/
Early Assessment of V.G.O			Opinion of M.O			
a.	_____		a.	_____		
b.	_____		b.	_____		
c.	_____		c.	_____		
1. Medical rating						
2. Major disability (Medical codeletters)						
3. Causa of disability						
4. Subsidiary disability (complicatio)						
5. Prognosis of the disability or disease						
6. Conditions and effort to be avoided						
7. Suitability for return to usual occupation of necessity for sheltered employment						
8. Indicate any special remedial work desirable in the workshop						
9. Gymnasium assignment						
10. Medical treatment						

Date :

Signature :

A-03

PROJECT FOR DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION SYSTEM
 IN THE NATIONAL REHABILITATION CENTRE FOR THE PHYSICALLY DISABLED PEOPLE
 PROF. DR. SOEHARSO SURAKARTA
 TECHNICAL COOPERATION BETWEEN THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA - JAPAN

=====

IDENTIFICATION FORM

Name : _____
 Registration No. : _____
 Dormitory : _____

NO	REHABILITATION TEAM	DECISION	SIGNATURE/DATED
1.	G.C.A		
2.	V.G.O a. N.R.C : b. JICA :		
3.	P.O		
4.	Instructor of Computer a. N.R.C : b. JICA :		
5.	Instructor of Machine Sewing a. N.R.C : b. JICA :		
6.	R.O. a. N.R.C : b. JICA :		

(4) 職業指導・評価結果フォーム

Form :B-01

PROJECT FOR DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION SYSTEM
IN THE NATIONAL REHABILITATION CENTRE
FOR THE PHYSICALLY DISABLED PEOPLE PROF.DR.SOEHARSO SURAKARTA
TECHNICAL COOPERATION BETWEEN THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
INDONESIA - JAPAN

DATA AND RESULT OF VOCATIONAL GUIDANCE

I. REHABILITEE :

- 1. Registration No :
 - 2. Complete name :
 - 3. Place, date of Birth/Age :
 - 4. Date of Admission in NRC :
 - 5. Home Address/Dormitory :
-

II. PHYSICAL CONDITION

MEDICAL REPORT :

- 1. Main disability :
 - 2. Subsidiary disability :
 - 3. Cause of disability :
 - 4. Date of accident :
 - 5. Prognosis :
 - 6. Conditions and efforts to
be avoided :
-

III. EDUCATIONAL BACKGROUND

- 1. Education has been
attended :
 - 2. Diploma :
 - 3. Cause of drop out :
 - 4. Courses have been
attended (followed) :
-

IV. RESULT OF EDUCATION TEST :

-
1. Level of Elementary :
School, class
 2. Level of Junior High :
School, class
 3. Level of Senior High :
School, class
 4. Result of Academic Test :
 - a. Mathematics :
 - b. Indonesian Language :
 - c. English Language :
 - d. Physical Science :
 - e. General Science :
-

V. RESULT OF PSYCHO TETS

-
1. :
 2. :
 3. :
 4. :
 5. :

RESULT OF PHYSIOLOGICAL TEST

-
1. :
 2. :
 3. :
 4. :
 5. :
-

VI. JOB EXPERIENCE

A. JOB EXPERIENCE :

B. ACTIVITIES OF JOB :

VII. FAMILY BACKGROUND :

-
1. Married/Unmarried :
 2. Job of Wife/Husband :
 3. Number of children
 - a.
 - b.
 - c.
 4. Number of dependent :
 5. Parents (father/mother) :
Husband/wife :
 6. Job of parent :
 7. Number of brother/sister :
 - a.
 - b.
 - c.
 - d.
-

VIII. RESIDENTIAL BACKGROUND :

-
1. Geographical Feature :
 2. Main resident's occupation:
 3. Number of factories :
 4. The distance between
factories and home :
 5. Transportation :
-

IX. JOB MARKET :

-
1. Suggestion/recommend from :
Local Social Office
 2. Suggestion from other :
institution
 3. The family's opinion :
 4. Client's opinion :
 5. Other information :
-

X. RESULT OF ASSESSMENT

-
1. :
 2. :
 3. :
 4. :
 5. :
-

XI. RESULT OF VOCATIONAL GUIDANCE

- 1. Dated :
 - 2. Dated :
 - 3. Dated :
 - 4. Dated :
 - 5. Dated :
-

XII. CONCLUSION OF VOCATIONAL GUIDANCE

- 1. Client's Interest :
 - 2. Social Ability :
 - 3. Mental Ability :
 - 4. Physical Ability :
 - 5. Job Market :
 - 6. Proposed to Voc. Training :
-

XIII. DECISION OF CASE CONFERENCE

- 1 st Decision, dated :
 - :
 - :
-

XIV. DECISION OF CASE CONFERENCE

- 2 nd Decision, dated :
 - :
 - :
-

XV. DECISION OF CASE CONFERENCE :

- 3 rd Decision , dated :
 - :
 - :
-

XVI. DECISION OF CASE CONFERENCE :

- 4 th Decision, dated :
 - :
 - :
-
-

FORM : B-02

PROJECT FOR DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION SYSTEM IN THE NATIONAL REHABILITATION CENTRE
FOR THE PHYSICALLY DISABLED PEOPLE PROF. DR. SOEIHARSO SURABAKARTA
TECHNICAL COOPERATION BETWEEN THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA - JAPAN

No	Activities	o	o	x
I MOBILITY NEED				
1	Walking			
2	Descend/ascend the steps			
3	Get out, get in of the bus			
4	Open the door			
5	Using wheelchair or not			
6	Using orthopaedl shoes/brace			
7	Using crutch (1 stick or 2 sticks)			
REMARKS :				
II EATING				
1	Using hand			
2	Using spoon			
3	Using fork			
4	Can drink by using glass			
REMARKS :				
III CLEANLINESS AND HEALTH				
1	How to open water tap			
2	How to brush teeth			
3	How to wash face			
4	How to shave beard			
5	How to comb hair			
6	How to cut fingernail			
7	How to cut toenail			
9	How to wash hands			
REMARKS :				
IV USING WHEEL CHAIR				
1	Able to go forward, turn, back up			
2	Able to change from wheelchair to chair			
3	Able to change from chair			
REMARKS :				

No	Activities	o	o	x
V TAKE A BATH				
1	How to go into and go out of bathroom			
2	How to soap the body			
3	How to use water scoop			
4	How to press towel (using 2 hands or not)			
5	How to dry his/her body			
6	Washing hair			
7	Using squat closet			
8	How to clean with water after defecation			
9	Able to urinate by standing or not for male, if they he doesn't use closet (using holding or not)			
REMARKS :				
VI TIGHTNESS ACTIVITIES				
1	Able to wear and open clothes with button in front			
2	Able to wear and open clothes/T-shirt without button			
3	Able to wear and open trouser			
4	Able to wear and open blouse and skirt			
5	Able to insert the button with the size 1 cm			
6	Able to insert the button with the size 2 cm			
7	Wear trouser and shirt with ritslutting			
8	Able to use socks			
9	Able to use BH(brassiere)with hook			
10	Able to use belt			
REMARKS :				

Name of client :

.....M / F

Kind of Disability :

Date of test :

o = able to do, there is no problems o = able to do, but need longer time x = not able to do

Form : B-03

PROJECT FOR DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION SYSTEM
 IN THE NATIONAL REHABILITATION CENTRE
 FOR THE PHYSICALLY DISABLED PEOPLE PROF. DR. SOEMARSO SURABARTA
 TECHNICAL COOPERATION BETWEEN THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
 INDONESIA - JAPAN

OBSERVATION OF SOCIAL ASPECT

REGISTRATION NO : _____ NAME : _____ KIND OF DISABILITY : _____
 DATE OF OBSERVATION : _____ TO _____ (DAY) ; COME : _____ DAY : _____
 LATE : _____ DAY ; EARLY GO HOME : _____ DAY ; ABSENT : _____ DAY

	OBSERVATION INDICATOR	ASSESSMENT				COMMENT
		A	B	C	D	
R U C E	NEVER LATE, GO HOME EARLY AND PRESENCE					
	SOMETIMES LATE, BUT HE/SHE GIVES INFORMATION					
	FINISHED, IF HE/SHE HAS PROBLEM, GIVES REPORT					
	ABLE TO KNOW WHEN THE TIME FOR TRAINING/BREAK					
E	ABLE TO PREPARE MATERIAL AND PUT IN ORDER AFTER FINISH					
	ABLE TO RECEIVE ADVICE					
	ABLE TO IMPLEMENT ADVICE					
A T T I T U D E / T R A I N I N G	IF HE/SHE HAS QUESTION, HE/SHE CAN ASK THE OFFICER					
	ABLE TO TAKE CARE HIS/HER HEALTH					
	HAVE WILLINGNESS TO FOLLOW THE TRAINING					
	ABLE TO WORK DIRECTLY					
T R A I N I N G	ABLE TO WORK BY HIM/HERSELF WITHOUT ANY COMMAND					
	WORK DILIGENTLY WITHOUT ANY SUPERVISION/CONTROL					
	WORK DILIGENTLY WITHOUT ANY DISTURBING					
	WORK WITH FULL CONCENTRATION					
	ABLE TO MAINTENANCE AND USE EQUIPMENT/FACILITIES CAREFULLY					
	ABLE TO PUT IN ORDER THE EQUIPMENT					
	UNDERSTAND WARNING/DANGEROUS					
	WILLING TO ACCEPT COMMAND					
A C H I E V E M E N T	RECEIVE RESPONSIBLE					
	ABLE TO WORK CORRECTLY					
	ABLE TO DO ALL WELL					
	ABLE TO OPERATE EQUIPMENT WELL					
	ABLE TO CREATE GOOD IDEA					
	ABLE TO WORK FROM MORNING UNTIL AFTERNOON					
	ABLE TO WORK CONTINUOUSLY					
P E R S O N A L I T Y	ABLE TO INCREASE ACHIEVEMENT WELL					
	ABLE TO SAY GREETING					
	ABLE TO ANSWER THE QUESTION					
	GOOD LANGUAGE					
	ABLE TO APOLOGIZE					
	ABLE TO COOPERATE WITH FRIENDS					
E T C	ABLE TO SPEAK WITH FRIENDS					
CONCLUSION						

NOTE : A. GOOD B. ENOUGH C. MODERATE D. POOR DATE MONTH YEAR
 PUT KARA : Y

OBSERVER

PROJECT FOR DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION SYSTEM
 IN THE NATIONAL REHABILITATION CENTRE
 FOR THE PHYSICALLY DISABLED PEOPLE PROF. DR. SOEHARSO SURAKARTA
 TECHNICAL COOPERATION BETWEEN THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
 INDONESIA - JAPAN

Result of Evaluation

Name :
 Reg. No :

Item Aspect	Kind of Observation	Comment
Physi- cal As- pects		
Mental As- pects		
Social As- pects		
Voca- tional As- pects		

Conclusion :

Vocational Guidance Officer

(5) 障害者雇用状況アンケート

**PENELITIAN / SURVEY PENDAYAGUNAAN
TENAGA KERJA PENCA TUBUH**



**KERJASAMA TEKNIK
PENGEMBANGAN SISTEM REHABILITASI VOCATIONAL
DEPARTEMEN SOSIAL RI - JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY (JICA)
SURAKARTA 1996**

PENELITIAN/SURVEY PENDAYAGUNAAN
TENAGA KERJA PENCA TUBUH
=====

DAFTAR PERTANYAAN

1. Nama Perusahaan dan alamat

Nama :

Alamat :

2. Jenis Usaha :

3. Jumlah karyawan/pegawai : 3.

a. Laki-laki : orang a.

b. Perempuan : orang b.

c. Jumlah tenaga kerja penca tubuh : orang c.

1. Laki-laki : orang 1.

2. Perempuan : orang 2.

4. Sudah berapa lama Saudara menggunakan tenaga kerja 4.

penca tubuh.

a. antara 1 - 2 tahun. a.

b. antara 2 - 3 tahun. b.

c. antara 3 - 4 tahun. c.

d. lebih dari 5 tahun. d.

A. ETOS KERJA

5. Menurut penilaian Saudara bagaimana ketepatan waktu 5.

masuk/pulang kerja pada umumnya bagi tenaga kerja

penca di perusahaan.

a. Selalu tepat. a.

b. Sering tepat. b.

c. Jarang tepat. c.

d. Tidak pernah tepat. d.

6. Bagaimana penggunaan waktu/jan kerja (Kerajinan) 6.
- a. Selalu digunakan dengan sebaik-baiknya a.
 - b. Biasa saja/normal. b.
 - c. Jarang digunakan dengan baik. c.

7. Bagaimana produktifitas tenaga kerja cacat tubuh. 7.
(Kemampuan)
- a. Lebih Produktif. a.
 - b. Sama dengan normal. b.
 - c. Kurang produktif. c.

8. Bagaimana ketentuan kerja penca tubuh. (Kesabaran) 8.
- a. Lebih tekun dibanding dengan yang normal. a.
 - b. Sama dengan yang normal. b.
 - c. Kurang tekun. c.

9. Bagaimana daya tahan kerja penyandang cacat tsb : 9.
- a. Sangat kuat a.
 - b. Biasa b.
 - c. Kurang c.

B. HUBUNGAN KERJA

10. Sikap mental kerja 10.
- a. Jujur a.
 - b. Sopan b.
 - c. Adil c.

11. Bagaimana hubungan kerja antara tenaga kerja penca dengan tenaga yang normal, maupun unsur pimpinan perusahaan. 11.

- a. Kerjasamanya baik sekali. a.
- b. Bisa bekerjasama. b.
- c. Tidak bisa bekerjasama. c.

C. PERMASALAHAN YANG DIHADAPI OLEH PERUSAHAAN

12. Apakah tenaga kerja penca tubuh lebih banyak menuntut (seperti fasilitas, gaji, dll). 12.

- a. Ya. a.
- b. Kadang-kadang b.
- c. Tidak. c.

13. Apakah dengan mempekerjakan tenaga kerja penca tubuh, perusahaan Saudara perlu menambah pos pengeluaran ?. 13.

- a. Ya. a.
- b. Kadang-kadang. b.
- c. Tidak. c.

14. Apakah tenaga kerja penca tubuh di perusahaan Saudara mengalami kesulitan dalam pemanfaatan peralatan kerja dan fasilitas lainnya ?. 14.

- a. Sama sekali tidak mengalami kesulitan. a.
- b. Kadang-kadang mengalami kesulitan. b.
- c. Mengalami kesulitan. c.

15. Apakah dengan mempekerjakan tenaga kerja penca tubuh Saudara perlu membimbing secara terus-menerus. 15.
- a. Tidak perlu. a.
 - b. Kadang-kadang perlu. b.
 - c. Perlu. c.

16. Alasan Saudara mempekerjakan tenaga kerja cacat tubuh. 16.
- a. Membantu program pemerintah. a.
 - b. Kesadaran dan tanggung jawab sosial. b.
 - c. Karena perintah Tuhan. c.
 - d. Karena ketekunan dan kedisiplinan penca tubuh. d.
 - e. Ingin mencoba kemampuan penyandang cacat tubuh. e.

D. KEMUNGKINAN PENAMBAHAN TENAGA KERJA PENCA TUBUH

17. Apakah perusahaan Saudara ingin/merencanakan menambah tenaga kerja penca tubuh ? Kalau ya, berapa jumlahnya. 17.
- a. Laki-laki :..... orang, tahun :..... a.
 - b. Perempuan :..... orang, tahun :..... b.

18. Vak yang dibutuhkan : 18.
- a. Komputer :..... orang. a.
 - b. Penjahitan :..... orang. b.
 - c. orang. c.
 - d. orang. d.

PROJECT FOR DEVELOPMENT OF VOCATIONAL REHABILITATION SYSTEM
IN THE NATIONAL REHABILITATION CENTRE
FOR THE PHYSICALLY DISABLED PEOPLE PROF.DR.SOEHARSO SURAKARTA
TECHNICAL COOPERATION BETWEEN THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
INDONESIA - JAPAN

=====

PREPARATION FOR PLACEMENT

I. DIRECTION TO ANSWER

1. Read all the questions carefully
2. Write your answer short and clear
3. Put the mark v for the answers you have been choosin
4. Questions number 6,7 and 16.1 just be answered to the factories which employ workers on computer
5. questions number 8 and 16.2 just be answered to the factories which employ workers on machine sewing
6. After this questionairs have been completed, please send to NRC Prof.Dr.Soeharso Surakarta, Jl. Kolonel Sutarto, Jebres. Phone (0271) 47626 PO BOX 810 Surakarta

II. LIST OF QUESTIONNAIR

1. Name of Factory/Company and Address :

Name :

Address :

2. Kind of Productive Effort

.....

.....

3. Number of Employees/Workers now : 3.

a. Malepersons a.

b. Femalepersons b.

4. Possibility to increase the workers to develop your factory. 4.

a. Yes, it will a.

b. No, it will not b.

5. If yes, How many workers will be increased 5.

a. Malepersons a.

b. Femalepersons b.

6. Kinds of computer operator, skill are needed : 6.

a. DOS 1, 2 a.

b. WS 4 - WS 7 b.

c. Window 3.1 and 3.11 c.

d. Word Perfect 6.1 d.

e. Ventura. e.

f. Word 5 f.

g. Lotus 1, 2, 3, R.S for Windows g.

h. Others, please mention in detail : h.

.....
.....
.....

7. Kinds of computer Programmer' skill are needed : 7.

a. DOS. 3 a.

b. Data Base b.

c. Q Basic c.

d. Turbo Basic d.

e. Compiler e.

f. LAN. (Local Area Network) f.

g. Others, please mention g.

.....
.....
.....

8. Kinds of Machine Sewing' skill are needed 8.
- a. a.
 - b. b.
 - c. c.
 - d. d.

9. Work system are applied 9.
- a. Daily a.
 - b. Weekly b.
 - c. Monthly c.
 - d. Fixed Worker d.
 - e. Whole work system e.
 - f. Others, please mention f.
-

10. System of Salary 10.
- a. Daily a.
 - b. Weekly b.
 - c. Monthly c.
 - d. Others, please mention d.
-
-

11. Please explain How much the salary (Daily, Weekly, monthly) 11.
-
-
-

12. Work Hours 12.
- a. Morning a.
 from to.....
 - b. Morning - Afternoon b.
 from to.....
 - c. Evening c.
 from to.....

13. Facilities are given to the workers 13.
- a. Dormitory from the factories/
 institution (free/rent = Rp. /
 month) a.
 - b. There is no dormitory facility b.
 - c. There are supporting financial for
 wife/children Rp. c.
 - d. Health Finance/Budget d.
 - e. Pension insurance/give some money
 after pension e.
 - f. Others, please mention f.

14. Qualifications of the workers are needed 14.
- a. Minimum age years old a.
 Maximum years old
 - b. Married/unmarried b.
 - c. Level of Education c.
 - d. Others, please mention d.

15. Sanction for the workers who don't obey the role of factory 15.

a. Yes, we have (explain) a.

.....
.....
.....
.....

b. No, we don't have b.

.....
.....
.....
.....

16. To create the program of Technical Cooperation in NRC Prof.Dr.Soeharso Surakarta successful, especially in vocational training and to prepare employment for the Disabled Workers, please give suggestion as follow :

16.1 Based on the need of workers on computer in our factory, we suggest that the subject of computer in NRC will be added: 16.1.

- a. a.
- b. b.
- c. c.
- d. d.
- e. e.
- f. f.

16.2 Based on the need workers on machine sewing in our factory, we suggest that the subject for machine sewing in NRC will be added :

- a. a.
- b. b.
- c. c.

16.3 In order to adapt the work environment in factories, Do you agree that in certain time, the Physically Disabled People carry out on the Job Training in your factories, either vocational training computer or machine sewing, in accordance with our schedule, in April - May every year.

- a. Agree a.
- b. Don't need b.
- c. Don't agree c.

16.4 If you agree, how long for the program on the Job Training

- a. 2 weeks a.
- b. 3 weeks b.
- c. 4 weeks c.
- d. Others, Please mention d.

.....

III. CLOSING

We do hope that you are able to complete this questionnair and send back this to our institution.

We thank you for your support and participation. This is means that you participate for the Government Program in Rehabilitation service for the Disabled.

Thank you for your cooperation and attention.

資料2. 縫製訓練関連資料

(1) 四半期活動報告

平成7年度第1四半期現在

3) 四半期活動概要 (専門家氏名 櫻橋 清彦)

活動の進捗状況	活動実施	成果概要
<p>1. 縫製用機器の整備、操作、調整技術に関するC/Pへの技術移転</p> <p>2. 縫製関係情報収集及び分析に基づいたカリキュラム試行案の作成</p> <p>3. 基礎教材の作成、基礎訓練における指導技法の移転</p> <p>4. 訓練計画案の作成</p>	<p>1. 基本的なミシン操作及び調整技術に関する技術移転の実施</p> <p>2. 縫製科の訓練目標及びカリキュラム試行案作成</p> <p>3. 機器の納入が遅れたため、教材作成は次期繰り越し</p> <p>4. 8月訓練生受け入れ、来年6月までの訓練計画案作成</p> <p>5. 70114c 特許権利者のスワッピングへの参加</p>	<p>1. C/Pが高速ミシンの基本的操作をマスターした</p> <p>2. 訓練目標の設定およびカリキュラムの概要について、C/Pが理解し、訓練目標及びカリキュラム試行案を作成した</p> <p>3. なし</p> <p>4. 年間の時間計画案の概要についてC/Pが理解し、年間訓練計画案を作成した</p> <p>5. 本年度業務運営計画についてアトバイスした</p>
<p>問題点</p> <p>・ 日本調達機材の納入が遅れているため、縫製用機器が未整備</p> <p>・ インドネシア調達機材は、四月下旬から6月上旬までにバラバラと到着したため、配置及び整備の能率がわるく、一部機材については未整備</p> <p>・ 日本調達機材は未納入、これらに参考図書及び機工具等教材作成に必要な機材が含まれているため、教材作成は次期繰り越しとした</p>	<p>日本調達機材は7月中旬納入予定</p>	<p>次四半期の計画・対応方針</p> <p>1. 縫製用機器の操作及び調整技術に関するC/Pへの技術移転の継続</p> <p>2. 基礎教材の作成、導入及び基礎訓練における指導技法の技術移転</p> <p>3. 訓練生の受け入れ準備及び8月より訓練開始</p>

3) 四半期活動力 - 成果概要

(専門氏名 柳橋 清枝)

平成7年度第Ⅱ - 四半期現在

活動の進捗状況		活動実績	成果概要
活動計画	進捗状況		
<p>1. 縫製用縫器の操作及び調整技術に関するC/Pへの技術移転の進捗</p> <p>2. 基礎教材の作成、導入及び基礎訓練における指導技法の技術移転</p> <p>3. 訓練生の受け入れ準備及び8月より訓練開始</p>	<p>1. 特殊ミシン操作及び調整技術に関する技術移転の実施</p> <p>2. 基礎教材の作成、導入及び基礎訓練における指導技法の技術移転</p> <p>3. 8月7日訓練生受け入れ、評価及び導入訓練開始</p> <p>4. チビノン無償資金協力調査団への協力</p> <p>5. 各種会役への参加 (1) ステイアリングコミュニティへの参加(8月3日) (2) 閉所式への参加(9月5日) (3) R1アジア太平洋会議への参加</p> <p>6. C/Pの日本研修の実施(9月28日～12月)</p>	<p>1. C/Pが特殊ミシンの基本的操作をマスターした</p> <p>2. C/Pが導入及び基礎訓練におけるサンプル教材を作成し、訓練生を指導した</p> <p>3. 9月より訓練が開始された</p> <p>4. 縫製科実習場、教室、機械等に対する助言</p> <p>5. (1) ミシンソーイングの訓練についてアドバンス (2) 閉所式への参加及びマシンソーイングの訓練についての説明助言 (3) 総会及びポストカンファレンス(職業委員会)への参加</p>	
<p>問題点</p> <p>・ 縫器の製造が遅れ、訓練生受け入れ準備が充分でなかったことと、評価と平行して訓練がスタートしたため、8月は計画的に訓練が実施できなかつた</p> <p>・ 教材作成について、C/Pがテキスト形式の教材作成については不慣れで時間がかかることから、とりあえずサンプル作成教材中心に指導を始めた</p>	<p>特記事項</p> <p>日本調達教材は7月中旬納入、現地調達教材の残り7月末納入されたが、一部教材については調整不良有り</p>	<p>次四半期の計画・対応方針</p> <p>1-1. 縫製用縫器の操作及び調整技術に関するC/Pへの技術移転の継続</p> <p>1-2. 短期専門家による紳士服縫製基礎技能に関するC/Pへの技術移転</p> <p>2. 基本教材及び応用教材の作成、基本訓練における指導技法の技術移転</p> <p>3. 基礎訓練及び基本訓練における評価法の技術移転</p>	

活動計画	活動の進捗状況	活動成果
<p>1. 基本教材及び応用教材の作成</p> <p>2. ①基本訓練における指導技法及び専門技術移転 ②短期専門家による紳士服縫製基礎技能に関するC/Pへの技術移転(12月1ヶ月程度) ③C/Pの日本研修の実施(9月末～12月23日)</p> <p>3. 95年度職業訓練の継続実施</p> <p>4. 縫製用機器の操作及び調整技術に関するC/Pへの技術移転の継続</p> <p>5. 基本訓練における評価法の技術移転</p> <p>6. 各種会議等への参加・助言</p> <p>7. その他</p>	<p>1. サンプル教材の作成、型図課題の作成指導</p> <p>2. ①型図課題の指導技法の技術移転 ②短期専門家への派遣は1月中旬に延期 ③C/Pの日本研修の実施(9月末～12月23日)</p> <p>3. 95年度職業訓練の継続実施</p> <p>4. 特殊ミシン操作及び調整技術に関する技術移転の実施</p> <p>5. 基本訓練における評価法の技術移転</p> <p>6. 各種会議等への参加・助言 ①ステイアリングコミュニティへの参加(12月6日) ②テレビジョン基本設計研究会への教材などの計画協力 ③海外青年協力隊(社会者所管施設派遣)との意見交換会</p> <p>7. ①指導評価職場研修プログラムへの参加(バタン、ソロ近郊など) ②JICAニュース取材協力</p>	<p>1. C/Pが部分型图等の課題を作成した</p> <p>2. ①C/Pがサンプル教材及び型図課題を使用して、訓練生を指導した ②短期専門家の派遣は1月中旬に延期 ③日本研修を終えたC/Pが帰国し、C/P全員の訓練指導への意欲が高まった</p> <p>3. 95年度職業訓練の実施(カリキュラムの進行 予定の85%程度)</p> <p>4. C/Pが特殊ミシンの簡単な調整をマスターした</p> <p>5. C/Pが基本訓練の評価を実施した</p> <p>6. ①マシンソーイングの訓練について説明助言 ②縫製訓練等に対する助言 ③社会省管轄の各種習熟施設の具体的な情報を得ることができ、特に縫製関係で派遣されている協力隊員と今後の情報交換をすすめる機会となった</p> <p>7. ①数社から職場実習の受け入れの回答を得た ②インドネシアの障害者状況に鑑み、ソロプロジェクト及びテレビジョンセンターの設立の必要性が周知される</p>
<p>四半期</p> <p>9月から本格的に訓練が始まり、C/Pも連日訓練の準備と指導に追われ、なかなか技術移転の時間がとりにくいのが実状であった。加えて3人のC/Pのうち、一人は日本研修、一人は従来の縫製関係の指導員の差休援助などを求められ、実質一人で訓練を担当することもあった。特に教材作成に関しては進行が遅れた。</p>	<p>四半期</p> <p>現在3名のC/Pを、米年度は1名に増員するようRC側に要求した。</p>	<p>次四半期の計画・対応方針</p> <p>1. 基本教材及び応用教材の作成 2. ①基本訓練における指導技法及び専門技術移転 ②短期専門家による紳士服縫製基礎技能に関するC/Pへの技術移転(1月下旬より12日間程度) 3. 95年度職業訓練の継続実施 4. 縫製用機器の操作及び調整技術に関するC/Pへの技術移転の継続 5. 基本訓練における評価法の技術移転 6. 各種会議等への参加・助言</p>

(2) 技術移転計画

Technical transfer in vocational training
職業訓練に係わる技術移転計画（機械科）

活 動	Y	94			1995			1996			1997		
	M	12	3	4	10	4	10	4	10	12			
Term of technical cooperation 協力期間													
2-1	To make vocational training plans 職業訓練計画の作成 ① 試行案の作成 ② 試行案の改善 ③ 計画案の作成												
2-2	To develop curricula and improve them カリキュラムの作成と改善 ① カリキュラム試行案の作成 ② カリキュラム試行案の改善 ③ カリキュラムの作成												
2-3	To Make teaching materials 訓練教材の作成 ① 試行訓練教材の作成 ② 試行訓練教材の改善 ③ 訓練教材の作成												
2-4	To transfer the training methods and technical specialties 指導技法及び専門技術の移転 ① 指導技法及び専門技術 ② C/P日本研修 ③ 短期専門家の派遣												
2-5	To implement training course 職業訓練の実施 ① 95年度職業訓練の実施 ② 96年度職業訓練の実施 ③ 97年度職業訓練の実施												
2-6	To transfer operation and maintenance methods of training machines 訓練用機械の操作・管理方法の移転 ① 95年度供与機械の操作・管理 ② 96年度供与機械の操作・管理												
2-7	To develop the skill evaluation methods 訓練評価法の開発 ① 訓練評価法の開発 ② 訓練評価法の改善 ③ 訓練評価法の実施												

(3) 縫製科カリキュラム

縫製科カリキュラム

	訓練科目	時間	訓練内容
1	制度上の基礎科目 1.1.パンチャシラ思想 1.2.国内理解 1.3.職業動機 1.4.職業指導 小計	15 15 15 15 60	
2	基礎実習 2.1.様々なタイプの縫製機器の取扱い	50	取扱い、保守
3	縫製実習 3.1.スカート 3.2.ズボン 3.3.シャツ 3.4.ブラウス 3.5.ドレス 3.6.ジャケット 3.7.評価 3.8.グループ縫製 小計	75 75 111 111 98 240 30 100 840	・縫製計画 ・採寸 ・パターン作成 ・裁断 ・縫製 ・仕上げ ・機器操作 ・ボタン穴作成 ・ボタン付け、 ・アイロン掛け
4	補習 4.1.安全作業 4.2.製品改善 小計	70 30 100	安全作業と安全衛生
5	OJT	150	企業内訓練および個別訓練
	合計	1200	

科目別時間数

科目	時間	スカート	ズボン	シャツ	ワンピース	ドレス	ジャケット
・縫製計画	80	10	10	10	10	10	30
・採寸	40	5	5	6	8	8	10
・パターン 図作成	100	10	10	15	20	20	30
・裁断	80	10	10	15	10	10	20
・縫製	300	30	30	50	40	40	120
・仕上げ	90	10	10	15	10	10	30
合計	710	75	75	111	98	98	240

-第2図-

(4) 訓練機器関連資料

1994年度(平成6年) SOLO VOCATIONAL REHABILITATION PROJECT
申請機材 LIST OF DONATED EQUIPMENT 1994 FISCAL YEAR

SEWING ROOM (縫製科)

利用/活用度 管理

DATE 納入日	REGIS. 登録番号	NAME OF EQUIPMENT 機材名	SPECIFICATION 規格	QUAN. 数量	UTILIZATION			MANAGEMENT		
					1995	1996	1997	1995	1996	1997
1995/3/15	D-13	OVER HEAD PROJECTOR	3H-2770	1	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/3/15	D-14	SCREEN	150X150	1	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-106 -115	NEEDLE LOCKSTITCH MACHINE	JUKI DOL-5550-08/EC10	10	A(B) C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-116 -117	NEEDLE CHAINSTITCH BLUNDTITCHER	JUKI CB-641	2	A(B) C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-118 -119	CLOTH CUTTING MACHINE	EASMANT 629C-8	2	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-120 -121	ROUND KNIFE MACHINE	YAMATO T-1/220/1PH	2	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-122	CUTTING TABLE	120X250X65	1	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-123 -124	VACUUM BOARD	JUKI JVB-938H	2	A(B) C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-125 -126	VACUUM BOARD	JUKI JVB-939H	2	A(B) C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-127 -128	ELECTRIC STEAM IRON	JUKI JES-357	2	A(B) C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-129 -130	ELECTRIC STEAM IRON	JUKI JES-356	2	A(B) C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-131	ELECTRIC BOILER	JUKI JMB-154	1	A(B) C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-132	ELECTRIC BOILER	JUKI JMB-156	1	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
1995/7/10	D-133	ELECTRIC BOILER	JUKI JMB-152	1	A(B) C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-139 -143	IRON	PHILIPS 220V/1PH	5	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-134 -138	IRON TABLE	100X60X65	5	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-144 -145	WATER SOFTNERS	MARUYAMA MX-6A	2	A(B) C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-146	BODY FOR WOMAN	9A2	1	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-147	BODY FOR WOMAN	TROUSERS A	1	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-148	BODY FOR MAN	Y-TYPE TF	1	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-149	BODY FOR MAN	TROUSERS PF	1	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-150 -152	TAPER REEL STAND	23 MM	3	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C
1995/7/10	D-153	WRAPPING BUTTON MAKING KIT		1	A B C	A B C	A B C	A(B) C	A B C	A B C

Jack
29.11

平成7年度

平成 7年 8月 日

現地自給用中音階機材一式 (995年度)

Machine sewing (1995 Subject to Buy in Indonesia)

案件名: インドネシア 必要経費: 円 (通関料)

Name of Equipment 機材名	Specifications 型式	Manu- cturer メーカー名	Q'ty 数量	見 積 価 格		契約予定業 者名もしくは 見込業者	支払条件	輸入税・付 加価値税の 免除の有無	規定数 当番号	添付見積 書番号
				単 価	総価格					
1 Needle Lockstitch Machine	JUKI Brand Model DDL-5550-3/OB EC-10 with Automatic Thread Trimmer c/s with Original Motor Local table and 2 stand	JUKI	10 sets	3,450,000	34,500,000	PAJAR NIAGA	納入時 現金 100%		5	1
Consumables	Organ Needle DE x 1 # 14 Yarn Bobbin Bobbin case Oil Cloth for trial stitch	Organ Local " " " "	500 pcs. 50 rolls 100 pcs. 30 pcs. 10 Ltr 300	225,000 3,500 1,500 19,500 4,000 2,500	225,000 175,000 150,000 585,000 40,000 750,000					
2 Needle 5 Thread overlook Safety stitch machine	JUKI Brand Model NO-3716 /DD4/40 XF C/S with 250v Local table and 2 stand	JUKI	1 set	3,250,000	3,250,000	PAJAR NIAGA	納入時 現金 100%		5	2
Consumables	Organ Needle DCX-27 # 14 Yarn Upper Loop Lower Loop oil	Organ Local " " "	50 pcs. 5 rolls 1 pc. 1 pc. 1 Ltr	500 3,500 81,000 42,500 4,000	25,500 17,500 81,000 42,500 4,000					
1 Needle 3 Thread overlook machine	JUKI Brand Model NO-3704 /OD/40 XF C/S with Motor 250v/220v Local table and 2 stand	JUKI	2 sets	3,000,000	6,000,000	PAJAR NIAGA	納入時 現金 100%		5	3
Consumables	Organ Needle DCX-27 # 14 Upper Loop Lower Loop oil Cloth for trial stitch	Organ Local " " "	100 pcs. 2 pcs. 2 pcs. 2 Ltr 60 m	500 81,000 42,500 4,000 2,500	50,000 162,000 85,000 8,000 150,000					

1 Needle 2 Thread Chainstitch Eject Button Hole machine	GLOBAL Brand Model BK-759 C/S with Original Motor 3/4 HP/220v/1PH Table and Z Stand	C	1 set	19,000,000	19,000,000		納入時 現金 100%	PAJAR NIAGA	5	4
Consumables	EBX 755 # 16 Yarn oil Cloth for trial stitch	EBX Local " "	50 pcs. 5 rolls 1 Ltr 30	850 3,500 4,000 2,500	42,500 17,500 4,000 75,000					
Bartacking Attaching machine	JUKI Brand Model LK-1852 -1 with Induction Motor local table and Z Stand	JUKI	1 set	7,850,000	7,850,000		納入時 現金 100%	PAJAR NIAGA	5	5
Consumables	Organ Needle DBX # 14 Yarn Bobbin Bobbin case Oil Cloth for trial stitch	Organ Local " " " "	50 pcs. 5 rolls 10 pcs. 3 pcs. 1 Ltr 30	450 3,500 4,500 24,500 4,000 2,500	22,500 17,500 45,000 75,500 4,000 75,000					
Bandknife Cutting Table	EASTMAN Brand Model BK-700 Size 1500x1800 MM Motor 250W/220v/1PH	EASTMAN	1 set	22,500,000	22,500,000		納入時 現金 100%	PAJAR NIAGA	5	6
Blade	EASTMAN (1)	EASTMAN	5 sets	125,000	625,000					7
Falcon End Cutter	EASTMAN Brand 60"/220v/1PH	EASTMAN	1 set	4,250,000	4,250,000		納入時 現金 100%	PAJAR NIAGA	5	8
FLEXIBLE CUTTING TABLE	FORMICA SIZE 1.53 M(Width) 4.80 M(Length)	FORMICA	1 unit	6,750,000	6,750,000		納入時 現金 100%	PAJAR NIAGA	5	9
Mini Pressing Machine	JUKI Brand Model JSP-341A 220v/1PH	JUKI	1 set	12,500,000	12,500,000		納入時 現金 100%	PAJAR NIAGA	5	10
BELT	For JUKI Brand Model JSP-341A (Upper and Lower)	JUKI	1 set	4,200,000	4,200,000					11
Installation Accomodation and Transportation					2,500,000		納入時 現金 100%	PAJAR NIAGA	5	12
					SUBTOTAL	126,851,500				

Name of Equipment 機材名	Specifications 型式	Manufacturer メーカー名	Qty 数量	見 値 格		納 期	契約予定業者 名もしくは 見掛業者	支払条件	輸入税・付 加価値税の 免除の有無	規定款 当番号	添付見取 書番号
				単 価	総価格						
Finishing Table Torking	Model YIU LIX YPB-132 w/size:80x120cm	YIU LIX	1	1,210,000	1,210,000		SIRUA	納入時 現金100%		5	13
Industrial steam iron	YIU LIX YU-SS 5.5 LBS Steamiron/Heater	YIU LIX	1	600,000	600,000		SIRUA	納入時 現金100%		5	14
Body	woman man	Local	3 3	95,000 90,000	285,000 270,000		BAKTI TAILOR	納入時 現金100%		5	15
Microc	Xedrive size w/50cm x L/150cm	Local	2	115,000	230,000		HAPPY	納入時 現金100%		5	16
Chair	For sewing machine L/50cm	Local	30	17,500	525,000		JENPOL BARU	納入時 現金100%		5	17
Torking table(Family rack)	For sewing machine Local A-1(KI RK 3)	Local	30	25,000	750,000		BENGA YAN	納入時 現金100%		5	18
Small steam iron	PHILIPS HD 1518	PHILIPS	5	150,000	750,000		CEMERLANG	納入時 現金100%		5	19
LOCKER	BOSTINCO IS1-103 183x92x45.5	BOSTINCO	5	605,000	3,025,000		BOSTINCO	納入時 現金100%		5	20
SHELF	BOSTINCO IS1-124 183x92x38.5	BOSTINCO	5	246,000	1,230,000		BOSTINCO	納入時 現金100%		5	21

FORM 148-1111-060

平成8年度

予備品機材現地調達申請書 (1996年度)

(単位: R P)

(インドネシア国 ソロワラ州 隆栄リハビリプロジェクト ニ コ ュ ー タ / 総 製)

NAME OF THE EQUIPMENT	SPECIFICATION	NAME OF THE MAKER	QTY.	支払条件		輸入税・付加価値税の免除の有無	規定該当番号	添付見積書番号
				Price/Unit	Sub Total			
1	Optical Disk Drive	Mitsubishi	1	3400000	3400000			
2	Hard Disk Drives		2	425000	850000			
3	Memory		2	825000	1650000			
4	17inch Display	HP	2	1950000	3900000			
5	3.5inch Disk Drive		2	195000	390000			
6	5.25inch Disk Drive		2	195000	390000			
7	Out Sheet Feeder	EPSON	5	230000	1150000			
8	Data Switch		5	7500	37500			
9	Printer Cable		5	7500	37500			
10	Printer Cable		5	45000	225000			
11	Keyboard		5	160000	800000			
12	Serial Mouse		5	160000	800000			
13	PS/2 Mouse		5	160000	800000			
14	PCMCIA CARD		1	475000	475000			
15	PCMCIA CARD		1	745000	745000			
16	PCMCIA CARD		1	650000	650000			
17	PCMCIA CARD		1	1960000	1960000			
18	Display Filter		10	300000	3000000			
19	UPS	APC	2	1550000	3100000			
20	Forking desk		12	200000	2400000			
21	Chair of working desk		24	35000	840000			
22	Sewing machine parts		2	175000	350000			
23	motor	JUKI	5	5000	25000			
24	Y belt	JUKI	2	10000	20000			
25	petal	local	2	130000	260000			
	bobbin asm	JUKI			7045000			
					31,705,000			

(5) 出席簿・訓練日誌・評価表

BUKU HADIR (出席簿)

MACHINE SEWING (縫製)

BULAN : JANUARI 1996

NO.	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
NAMA	Sen.	Rab.	Kam.	Jum.	Sab.	Sen.	Sab.	Sen.	Rab.	Kam.	Jum.	Sab.	Sen.	Sab.	Sen.	Rab.	Kam.	Jum.	Sab.	Sen.	Sab.	Sen.	Rab.	Kam.	Jum.	Sab.	Sen.	Sab.	Sen.	Rab.
1. (新研修)																														
KU SPIRYANTO																														
2. LUKAS																														
3. MUSTAMIR																														
4. NOR ROCHMAN																														
5. RIFAN																														
6. SAMDI																														
7. SITI MANDAYANI																														
8. SITI MARYAMAH																														
9. SUSANTO																														
10. WIDI HASTON																														

(6) カウンターパート名簿

LIST OF INDONESIA COUNTERPART AT NRC SOLO

(カウンターパート名簿)

17TH APRIL 1995

VOCATIONAL GUIDANCE AND ASSESSMENT (MR. YAMAGA)			
DRS. SRI HADI	P		
DRS. WARSITO	P		
DRA. RATNA KUMALA	P		
DRS. BUDI HARUTONO	F		
DRS. MUH ROJI	F		
MR. TRIYANTO	F		
MACHINE SEWING (MISS. TANAHASHI)			
DRS. ISTICHFAR	P	イステイファー氏	経歴 管理職(課長)
DRS. SOEMARSONO	P	スマルソノ氏	経歴 "
MRS. SUGIATMI	F	スギアトミ氏(女性)	経歴 1977-20年
MR. SURIPNO	F	スリプノ氏	経歴 " 15年
MR. MARDANI	F	マルダニ氏	経歴 " 20年
COMPUTER (MR. HIRAKAWA)			
DRS. ISTICHFAR	P		
DRS. SOEMARSONO	P		
DRS. MARDIANTO	F		
DRS. WALUYO	F		
MR. ISNANTO	F		
MRS. SURANTI	F		
ADMINISTRATIVE PERSONNEL (MRS. GHAKOHI)			
DRS. RADIX SUKAMTO	P		
DRA. MURHARJANI	P		
BAMBANG T.S, BA	P		
DRS. EDY TRIYANTO	P		
MRS. YUSTINA S.S.	P		
MR. AGUS SUTARYANTO	F		
RESEARCH PERSONNEL			
DRS. RADIX SUKAMTO	F		
BAMBANG T.S, BA	F		
MR. KAWAKAMI	F		
MR. YAMADA	F		

(縫製)

(7) 職業指導・評価表

(職業指導・評価表)
OBSERVASI ASPEK SOSIAL

NO. REGISTER:

NAMA:

JENIS CACAT:

TGL. OBSERVASI:

S/D

(

HARI): MASUK:

HARI:

HARI: PULANG CEPAT:

HARI: ABSEN:

HARI

(規則の遵守)

(訓練態度)

(評価評価)

(品行)

	INDIKATOR-INDIKATOR OBSERVASI	ASSESSMEN				KOMENTAR (コメント欄)
		B	C	S	K	
P	TIDAK ADA TERLAMBAT, PULANG CEPAT DAN ABSEN	(優)	(良)	(可)	(不可)	
E	ADA, TETAPI ADA PEMBERITAHUAN	✓				
R	SELESAI, ATAU ADA MASALAH KEMUDIAN BISA LAPOR	↑	✓			
A	DAPAT MEMBEDAKAN KAPAN WAKTU LATIRAN / ISTIRARAT	(優)	✓			
T	DAPAT MEMPERSIAPKAN BAHAN & MENGATURNYA KEMBALI			✓		
U	DAPAT MENERIMA AKAN NASEHAT DARI PETUGAS					
R	DAPAT MENJALANKAN NASEHAT TERSEBUT					
A	APABILA ADA PERTANYAAN DAPAT BERTANYA PETUGAS					
N	DAPAT MENJAGA KESEHATAN DIRINYA					
S	MEMPUNYAI KEINGINAN UNTUK MENGIKUTI LATIRAN					
I	DAPAT SEGERA BEKERJA DENGAN BAIK					
K	DAPAT BEKERJA SENDIRI TANPA PERINTAH PETUGAS					
A	DAPAT BEKERJA DENGAN RAJIN TANPA PENGAWASAN					
P	BEKERJA DENGAN TEKUN TANPA GANGGUAN ORANG LAIN					
/	BEKERJA DENGAN PENUH KONSENTRASI					
L	DAPAT MENJAGA & MENGGUNAKAN PERALATAN DNG HATI2					
A	MENGATUR KEMBALI PERALATAN KE TEMPAT SEMULA					
TH	MENGERTI AKAN ADANYA TANDA BAHAYA					
IA	MAU MENERIMA AKAN PERINTAH PETUGAS					
N	MENERIMA TANGGUNG JAWAB					
P	DAPAT BEKERJA DENGAN BENAR					
R	DAPAT MENGERJAKAN SEMUA DENGAN BAIK					
E	DAPAT MEMAKAI PERALATAN DENGAN BAIK					
S	MENCIPTAKAN GAGASAN YANG BAIK					
T	DAPAT BEKERJA DARI PAGI SAMPAI SORE					
A	DAPAT BEKERJA TERUS MENERUS DENGAN BAIK					
I	DAPAT MENINGKATKAN PRESTASINYA DENGAN BAIK					
S/	DAPAT MENGUCAPKAN SALAM					
IN	DAPAT MENJAWAB PERTANYAAN					
KA	BERBAHASA BAIK					
AT	DAPAT MEMBERIKAN MAAF					
PA	DAPAT BEKERJASAMA DENGAN TEMAN-TEMAN					
K	DAPAT BERBICARA DENGAN TEMAN-TEMAN					
P						
E						
KESIMPULAN						
(優) (良) (可) (不可)						

KETERANGAN : B. BAIK. C. CUKUP. S. SEDANG. K. KURANG.

PENILAIAN DENGAN TANDA : V

TGL.

日

BLN

月

TAHUN

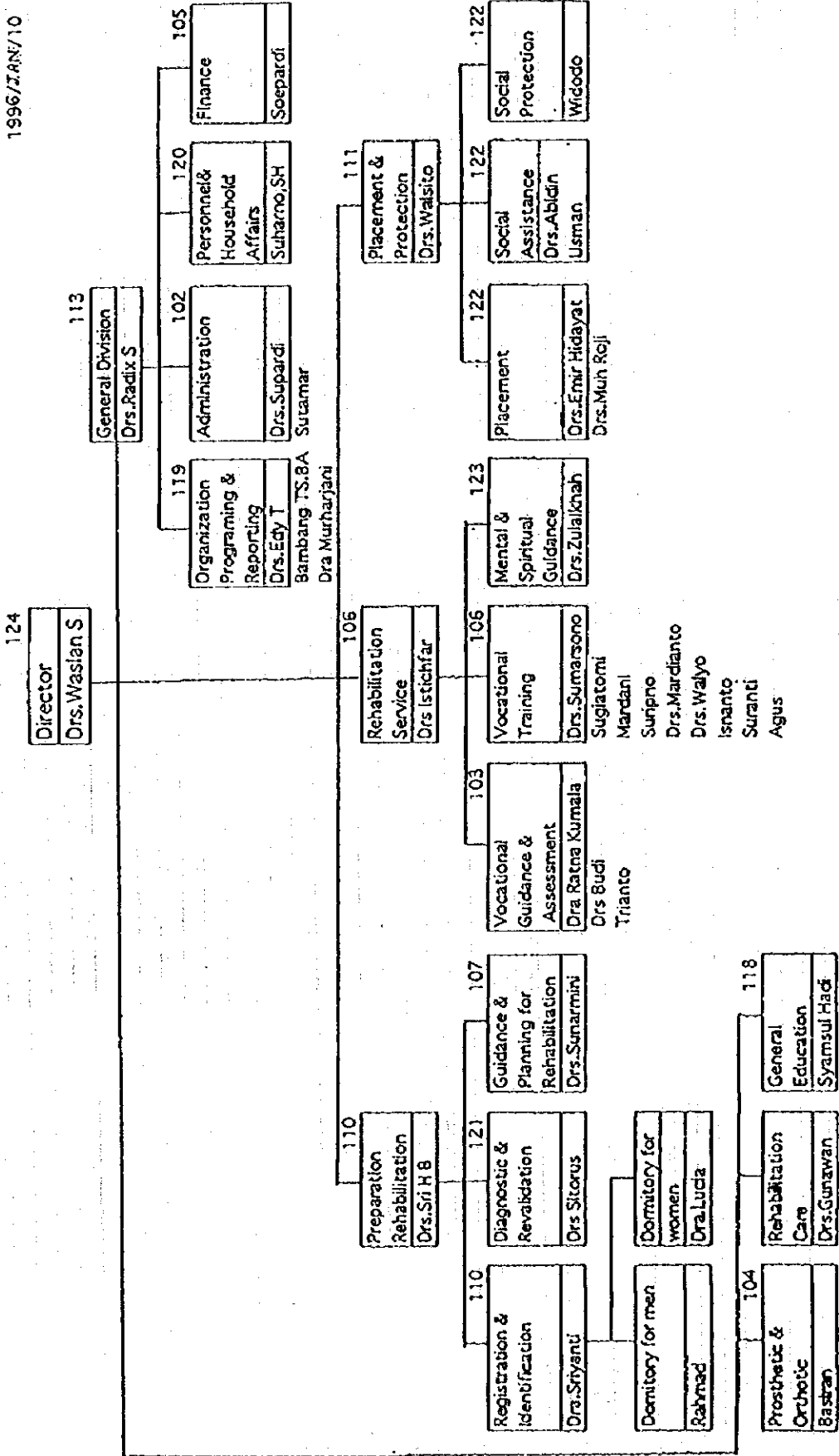
年

OBSERVER/PEMERIKSA

資料 3. ソロ・リハビリテーションセンター機構図

Organizational Structure
NRC "Prof.Dr. Soeharso" Surakarta

1996/JAN/10


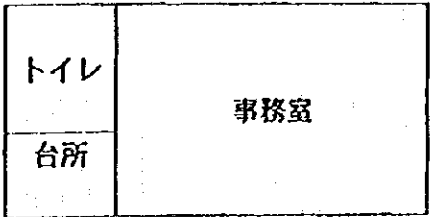
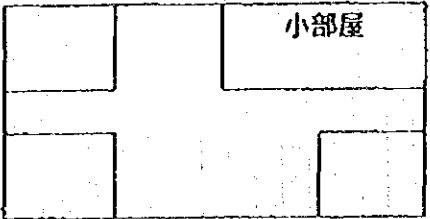
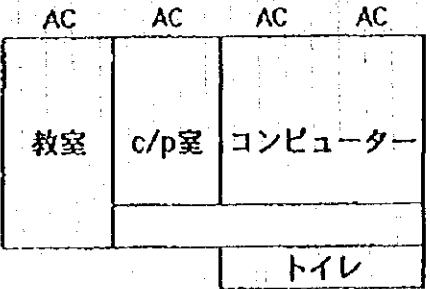
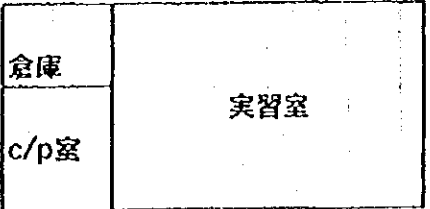


資料4. ソロ・リハビリテーションセンター改装内容及び供与機材

RC改装、機材

RCサイド改装内容及び供与機材

1996年1月23日

部屋	改装内容	機材	見取り図
リーダー室	床絨毯	エアコン 机、椅子 本箱、キャビネット ソファーセット 会議机	 AC AC
専門家室	床絨毯 電気配線 トイレ 台所	エアコン 机、椅子 本箱、キャビネット ソファーセット	
評価指導	床タイル 壁面 小部屋	机、椅子 本箱、キャビネット 扇風機 ホワイトボード	
コンピューター <small>～小体育館を改装</small>	床タイル 間仕切り 壁面総て 電気配線 トイレ	エアコン 机、椅子 本箱、キャビネット ホワイトボード	
縫製室	続き部屋を改装 床タイル 間仕切り 壁面総て 電気配線 棚 水道	机、椅子 本箱、キャビネット 棚 ホワイトボード	
車輛	MITSUBISHI COLT 9人乗り		

資料5. インドネシアの障害者統計

THE POPULATION OF INDONESIAN PEOPLE WITH DISABILITIES IN 1994

NO	P R O V I N C E S	POPULATION	CLASSIFICATION OF THE DISABLED				TOTAL OF DISABLED	
			BLIND	PHYSICALLY	EX CRONIC	MENTALLY		DEAF/MUTE
1	DKI JAKARTA	9.549.652	85.947	91.172	62.073	38.199	29.604	296.995
2	WEST JAVA	34.580.503	311.225	293.934	224.773	138.322	107.260	1.075.454
3	CENTRAL JAVA	28.579.919	257.213	242.929	185.769	114.319	99.597	888.831
4	D.I. YOGYAKARTA	3.117.725	28.060	26.501	20.265	12.471	9.665	96.962
5	EAST JAVA	23.440.844	300.969	294.247	217.363	133.763	103.667	1.040.010
6	D.I. ACEH	3.378.877	30.410	28.720	21.963	13.516	10.475	105.084
7	NORTH SUMATERA	10.605.184	85.447	90.144	68.934	42.421	32.876	329.822
8	WEST SUMATERA	4.009.464	36.085	34.090	26.062	16.038	12.429	124.694
9	R I A U	2.990.842	26.918	25.422	19.440	11.963	9.272	93.015
10	J A B I	2.102.486	19.922	17.871	13.666	8.410	6.518	65.387
11	SOUTH SUMATERA	6.220.677	55.996	52.876	40.434	24.883	19.284	193.463
12	LAMPUNG	7.531.879	67.787	64.021	48.957	30.128	23.349	234.242
13	WEST KALIMANTAN	3.193.758	29.744	27.147	20.759	12.775	9.901	99.326
14	CENTRAL KALIMANTAN	1.307.859	11.771	11.117	8.501	5.251	4.054	40.674
15	SOUTH KALIMANTAN	4.498.503	40.487	39.237	29.240	17.994	13.945	139.903
16	EAST KALIMANTAN	1.857.930	16.540	15.622	11.946	7.351	5.697	57.156
17	NORTH SULAWESI	2.525.193	22.727	21.464	16.414	10.104	7.828	78.534
18	CENTRAL SULAWESI	1.768.111	15.913	15.029	11.493	7.072	5.481	54.988
19	SOUTH SULAWESI	7.157.677	64.419	60.840	46.525	28.631	22.189	222.604
20	SOUTH-EAST SULAWESI	1.328.940	11.960	11.296	8.638	5.316	4.120	41.390
21	M A L U K U	1.891.541	16.484	15.568	11.905	7.326	5.678	56.961
22	B A L I	2.838.660	25.546	24.127	18.450	11.354	8.789	88.276
23	WEST NUSA TENGGARA	3.287.540	29.593	27.914	21.369	13.150	10.191	102.242
24	EAST NUSA TENGGARA	3.419.533	30.776	29.066	22.227	13.670	10.601	106.348
25	IRIAN JAYA	1.599.219	14.393	13.593	10.395	6.397	4.959	49.736
26	RENGGULI	1.156.881	10.412	9.832	7.520	4.628	3.596	35.979
27	EAST TIMOR	715.349	6.438	6.080	4.650	2.361	2.216	22.247
T O T A L			1.661.171	1.569.879	1.199.738	738.293	572.102	5.740.269

DIT-RPC IKDUN 1294. Jumlah penduduk berdasarkan hasil Sensus Penduduk Tahun 1990.

Keterangan : Data ini diperoleh dari presentase hasil kecocokan per penduduk

berdasarkan random sampling Desember tahun 1978 yaitu 3-11 % terdiri atas :

Rumenwicora = 0.31 %, Mental = 0.40 %, Tubuh = 0.85 %, Netra = 0.90 %, Kronio = 0.55 %

Manten Netra = 36 % dari Kronio.

Loc/Syal-1/Popula-1 - Rehabilitation Center for the Disabled : 36 Units, LDK = 266 Units, MKU/MSK = 57 Units

Kur : 4200 Units, Effortment : 23 Location, 18 provinces out location 14

注 : EX CRONIC = ハンセン病既往者

インドネシア・障害者数統計 (1995年)

ESTIMASI JUMLAH PENYANDANG CACAT
TAHUN 1995

NO.	PROPINSI	JUMLAH PENDUDUK	JUMLAH PENYANDANG CACAT MENURUT JENIS KECACATAN					TOTAL SELURUHNYA
			NETRA	TUBUH	KRONIS	MENTAL	RAW	
1	DKI Jakarta	9,160,000	82,440	77,860	59,540	36,640	28,396	284,876
2	Jawa Barat	39,336,000	354,024	334,356	255,684	157,344	121,942	1,223,350
3	Jawa Tengah	29,688,000	267,192	252,348	192,972	118,752	92,032	923,296
4	D.I Yogyakarta	2,916,000	26,244	24,786	18,954	11,664	9,040	90,688
5	Jawa Timur	33,685,000	304,965	288,023	220,253	135,540	105,044	1,053,825
6	D.I Aceh	3,860,000	34,740	32,810	25,090	15,440	11,966	120,046
7	Sumatera Utara	11,145,000	100,305	94,733	72,442	44,580	34,550	346,610
8	Sumatera Barat	4,328,000	38,952	36,778	28,132	17,312	13,417	134,591
9	Riau	3,924,000	35,316	33,354	25,506	15,696	12,164	122,036
10	Jambi	2,383,000	21,447	20,225	15,490	9,532	7,387	74,081
11	Sumatera Selatan	7,232,000	65,088	61,472	47,008	28,928	22,419	224,915
12	Lampung	6,680,000	60,120	56,780	43,420	26,720	20,708	207,748
13	Kalimantan Barat	3,651,000	32,659	31,033	23,732	14,604	11,318	113,546
14	Kalimantan Tengah	1,637,000	14,733	13,914	10,640	6,548	5,074	50,909
15	Kalimantan Selatan	2,900,000	26,100	24,650	18,850	11,600	8,990	90,190
16	Kalimantan Timur	2,331,000	20,979	19,813	15,152	9,324	7,226	72,494
17	Sulawesi Utara	2,652,000	23,858	22,542	17,238	10,608	8,241	82,497
18	Sulawesi Tengah	1,947,000	17,523	16,549	12,656	7,788	6,036	60,552
19	Sulawesi Selatan	7,577,000	68,183	64,405	49,251	30,308	23,489	235,636
20	Sulawesi Tenggara	1,594,000	14,346	13,549	10,361	6,376	4,941	49,573
21	Bali	2,902,000	26,116	24,667	18,863	11,608	8,996	90,252
22	Maluku	2,094,000	18,846	17,799	13,661	8,376	6,491	65,173
23	Nusa Tenggara Barat	3,654,000	32,886	31,059	23,751	14,616	11,327	113,639
24	Nusa Tenggara Timur	3,582,000	32,238	30,447	23,283	14,328	11,104	111,400
25	Irian Jaya	1,956,000	17,604	16,626	12,714	7,824	6,064	60,832
26	Bengkulu	1,415,000	12,735	12,028	9,198	5,660	4,386	44,007
27	Timor Timur	843,000	7,587	7,165	5,450	3,372	2,613	26,217
	JUMLAH	195,272,000	1,757,438	1,659,771	1,269,321	781,083	605,361	6,072,979

Jakarta, Desember 1995

Direktorat Rehabilitasi Penyandang Cacat

Keterangan:

Estimasi jumlah penyandang cacat dari jumlah penduduk berdasarkan Random Survey Tahun 1978 sebagai berikut:

- 1. Cacat netra : 0,90 %
- 2. Cacat tubuh : 0,85 %
- 3. Cacat kronis : 0,65 %
- 4. Cacat mental : 0,40 %
- 5. Cacat runguwicara : 0,31 %

注: 1995年は、インドネシア語版であるが、1994年の英語版とそれぞれのコラムは対応している。



JICA